

実務経験のある教員等による
授業科目の授業計画書（シラバス）

令和7年度

第一幼児教育短期大学

目 次

科目名	担当教員	ページ
子どもと児童文化	西元道子	1～2
社会的養護Ⅰ	青野孝洋	3～5
音楽表現	中村佳代子	6～8
子どもの保健	大窪智美	9～11
保育の心理学	森吉里奈	12～13
図画工作	丸田多賀美	14～16
保育原理	神崎光彦	17～19
音楽表現指導法	中村佳代子	20～22
子どもの健康と安全	大窪智美	23～25
保育内容総論	神崎光彦	26～28
保育実習指導Ⅰ	神崎光彦	29～31
子どもと音楽Ⅰ	中池順子	32～35
体育実技	伊達幸博	36～39
特別支援教育・保育	森吉里奈	40～43
幼児理解・教育相談	森吉里奈	44～45
子ども家庭支援の心理学	森吉里奈	46～47
造形表現	丸田多賀美	48～50
レクリエーション理論	伊達幸博	51～53
保育実習指導Ⅱ	神崎光彦	54～56
幼児音楽	中村佳代子	57～59
人間関係	森吉里奈	60～61
幼児体育	伊達幸博	62～64
スポーツ・レクリエーション理論	伊達幸博	65～67
保健講義	大窪智美	68～70
社会的養護Ⅱ	青野孝洋	71～73
造形表現指導法	丸田多賀美	74～76
子どもと音楽Ⅱ	中池順子	77～80
教育実習事前・事後指導	西元道子	81～84

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子どもと児童文化	1	前期	演習	1	西元 道子
○授業の到達目標及びテーマ 1) 子どもを取り巻く環境についての基本的な知識を理解する 2) 保育の内容における児童文化財の位置づけを理解する。 3) 子どもに寄り添いながら、共に文化的な生活を構築できる基礎的な知識・技能・感性を身につける。 4) 子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養う環境構成や、保育の展開方法を理解する。					
○授業の概要 現代社会の中で生きる子どもたちの現状に目を向けつつ、文化的に豊かな生活を営むことについて考えるとともに、児童文化および児童文化財についての知識を深める。また、演習など体験的な学びの場を通して、保育技能を身につけ、保育の場における児童文化の展開について理解する。					
○授業計画 第1回：児童文化とは何か 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認する。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。 第2回：子どもと絵本～赤ちゃん絵本を知る 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した絵本をもとに内容を再確認する。 第3回：子どもと絵本～ものがたり絵本を知る 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した絵本をもとに内容を再確認する。 第4回：子どもと絵本～絵本で学ぶ SDGs 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した絵本をもとに内容を再確認する。 第5回：子どもと絵本～昔ばなし絵本を知る 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した絵本をもとに内容を再確認する。 第6回：子どもと絵本～読み聞かせがもたらすもの 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに内容を再確認し、自己の考えをノート等にまとめる。 第7回：演習（絵本の読み聞かせ） 【事前学修】読み聞かせを行う絵本を選書し、読み聞かせの練習に取り組む。 【事後学修】グループ内での意見交換をもとに、よりよい実践に向けた改善を行う。 第8回：保育の場における児童文化財の活用について～紙芝居や人形劇を知る 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した教材をもとに内容を再確認する。					

第9回：保育の場における児童文化財の活用について～ペープサート・パネルシアター・エプロンシアターなどを知る 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した教材をもとに内容を再確認する。 第10回：保育の場における児童文化財の活用について～わらべうたや伝承遊びを知る 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した教材をもとに内容を再確認する。 第11回：保育の場における児童文化財の活用について～おはなしを語る 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した教材をもとに内容を再確認する。 第12回：保育の場における児童文化財の活用について～劇あそびの展開 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した実践記録をもとに内容を再確認する。 第13回：子どもとおもちゃ 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および実践の感想をもとに内容を再確認する。 第14回：著作権について学ぶ 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料および紹介した教材をもとに内容を再確認し、理解が不十分な内容について、インターネット資料等を検索して学びを深める。 第15回：児童文化を生かした保育環境について 【事前学修】本時のテーマについて、調べ学習を行う。 【事後学修】これまでの授業で取り扱った配布資料をもとに学びを振り返り、概略についてまとめる。
○テキスト 必要に応じて資料を配布する
○参考書・参考資料等 「保育をゆたかに 絵本でコミュニケーション」 村中 李衣/かもがわ出版 「認定絵本土養成講座テキスト」 絵本専門士委員会/中央法規 「文学で育ちあう子どもたち 絵本・あそび・劇」 全国保育問題協議会/新読書社 「絵本から学ぶ子どもの文化」 浅木尚実/同文書院 「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省、フレーベル館 「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省、フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館
○学生に対する評価 授業への取組20%、試験またはレポート80%
【教員の実務経験と授業の関連】 附属幼稚園において園長代理としての業務に就き、日常的に幼児への読み聞かせや児童文化財を活用した実践を行っており、そこで得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
社会的養護 I	1	前期	講義	2	青野 孝洋
○授業の到達目標及びテーマ 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷、現状と課題について理解する。 2. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 3. 社会的養護の対象や形態、関係する施設の概要や専門職等について理解する。					
○授業の概要 社会的養護の基本、意義と歴史の変遷、制度や実施体系を学び、資料や視聴覚教材から社会的養護の対象や 形態、施設、そこで働く専門職について理解を深める。さらに、社会的養護の現状と課題について理解する。					
○授業計画 第1回：社会的養護の基本的理念と原理 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認するとともに、テキストを読み「社会的養護」の概要をイメージしておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第2回：社会的養護の歴史の変遷 【事前学修】戦後の日本の子ども達的环境について調べておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第3回：子どもの権利と社会的養護 【事前学修】テキスト読み、「子どもの権利」とはどのようなものかイメージしておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第4回：社会的養護の基本原則 【事前学修】テキストを読み「子ども達が発達していく中でどのようなことが、保証されるべきなのか」イメージしておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第5回：社会的養護における保育士等の倫理と責務 【事前学修】「全国保育士会倫理綱領」に目を通しておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第6回：社会的養護に関する法律や制度 【事前学修】児童福祉法について簡単に調べておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。					

第7回：社会的養護の仕組みと実施体系

【事前学修】テキストを読み、子どもが児童養護施設に措置されるまでの流れを調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第8回：社会的養護とソーシャルワーク

【事前学修】テキストを読み、「ソーシャルワーク」という言葉を調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第9回：社会的養護の対象と支援

【事前学修】テキストを読み、社会的養護の対象となる子ども達についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第10回：家庭養護と施設養護

【事前学修】テキストを読み、「家庭養護」「施設養護」それぞれのイメージをしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第11回：社会的養護にかかわる専門職

【事前学修】テキストを読み、子どもと関わる専門職についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第12回：社会的養護に関する状況

【事前学修】テキストを読み、「虐待」「貧困」などに関わる子ども達の現状について簡単に調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第13回：施設等の運営管理の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、興味のある児童福祉施設の職員の資格について調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第14回：被措置児童等の虐待防止の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、「虐待にはどのようなものがあるのか」イメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第15回：社会的養護と地域福祉の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、自分の住んでいる地域の児童福祉施設にどのようなものがあるか調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

○テキスト

「図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅰ」 原田旬哉・杉山宗尚 編著 萌文書林

○参考書・参考資料等

必要に応じて配布する

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省 フレーベル館

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・厚生労働省・文部科学省 フレーベル館
○学生に対する評価 試験50% 提出物25% 授業への意欲・態度25%
【教員の実務経験と授業の関連】 児童発達支援、放課後等デイサービスにおける勤務経験で得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。 また、子育て支援、親子支援を行っている団体の研修会等の講師等を行った際に、保護者からの相談に応じ、その中で得た現場の声を、保育者に求められる資質として幼児教育科学生の育成に活かしている。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
音楽表現	1	前期	講義	1	中村 佳代子
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：領域「表現」のねらい及び内容を理解し、乳幼児期の発達を促すために必要な音楽的知識と身体表現を伴った豊かな表現力を身につける。 到達目標： 1. 領域「表現」のねらい及び内容について学び、乳幼児の発達を理解し、乳幼児の姿を受け止め共感することができるようになる。 2. 音楽の持つ様々な要素を、身体全体を使った動きを通して体験し、音楽力を高め表情豊かに表現できるようになる。 3. 自然や日常生活の事象に眼を向け、身体の様々な感覚で捉え表現できるようになる。 4. グループワークの協働作業により他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につないでいけるようにする。					
○授業の概要 保育者として求められる表現力と音楽の基礎知識を、身体全体を使った活動を通して培い体験的に学習する。また乳幼児期の生活や遊びを理解し、発達年齢に相応しい音楽表現を演習し楽しさや喜びを味わい、発達を促す音楽表現活動を協働して深める。					
○授業計画 第1回：領域「表現」のねらい及び内容と、乳幼児期の音楽表現について 【事前学修】：シラバス、テキストを確認して授業の内容を把握し、幼稚園教育要領などの領域「表現」のねらい及び内容を読み理解する。 【事後学修】：幼稚園教育要領などの領域「表現」のねらい及び内容を踏まえ、授業の要点をまとめる。 第2回：コミュニケーションの発達を促す「子どものうた」について（コミュニケーション、拍） 【事前学修】：テキストに目を通して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲を練習する。 第3回：ことばの発達を促す「子どものうた」について（拍子とリズム） 【事前学修】：テキストに目を通して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲を練習する。 第4回：動きの発達を促す「子どものうた」について（身体の知覚、テンポとダイナミクス） 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲を練習する。 第5回：認知や社会性の発達を促す「子どものうた」について（フレーズ） 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲を練習する。 第6回：伝承あそび「わらべうた」の特徴と意義、音楽的特徴と意義について 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。					

【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲を練習する。 第7回：唱歌、童謡など日本の歌について 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲を練習する。 第8回：音のスケッチ ― 声や自然の音、楽器の音、絵（図形）のイメージを描く 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：声や自然の音、楽器の音、絵（図形）に関心を持つ。 第9回：音のスケッチ ― 描いたものを声や楽器、身体で表現。グループワーク（アンサンブル） 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ様々な音に関心を持つ 第10回：イメージ音楽 ― ピアノを使用したイメージ音楽、効果音について 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめピアノによるイメージ即興に関心を持つ 第11回：イメージ音楽 ― 協働して短い物語を作り、声や楽器、身体全体を使って表現する 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ発表事項を記録する。 第12回：視覚的教材による歌唱の導入について 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲（視覚的教材の扱い方）を練習する。 第13回：視覚的教材を用いた表現方法について 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ授業で扱った曲（視覚的教材の扱い方）を練習する。 第14回：視覚的教材を用いた表現を実践し、考察する 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握し視覚的教材を作成する。 【事後学修】：視覚的教材を用いた実践の振り返りを行う。 第15回：音楽表現の様々な方法をまとめる 【事前学修】：これまでの全ての授業で扱った曲を復習する。 【事後学修】：これまでの学習内容の全てを復習する。 定期試験	
○テキスト 『新たなしいこどものうたあそび』木村鈴代編著 同文書院 『ユニバーサルデザインの音楽表現』星山麻木編著 萌文書林	
○参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館	
○学生に対する評価 授業への取り組み及び課題提出30% 授業内発表30% 定期試験40%	

【教員の実務経験と授業の関連】

小・中学校音楽専科及び保育・幼児教育現場でリトミック講師として、3歳児以上の園児を対象にしたリトミック活動に従事し、そこで得た幼児の実態、保育者の姿、幼児のための指導法、実務経験を、幼児教育科の学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子どもの保健	1	前期	講義	2	大窪 智美
○ 授業の到達目標及びテーマ 1. 一般的な保健と子どもの保健の違いを理解する。 2. 子どもの成長発達の特徴を理解し、保育に活かすことができるようになる。 3. 子どもに多くみられる病気について学び、健康観察や予防対策に活かすことができるようになる。 4. 保健活動における家庭・他職種・地域の役割を学び、保育現場において連携・協働の下、保健活動が実践できるようになる。					
○ 授業の概要 子どもの健やかな成長と発達における保健活動の重要性を踏まえ、子どもの身体や精神に関する基礎知識、及び疾病の特徴を理解する。また、保健活動における連携について理解を深め、保健活動の実践力に繋げる。					
○ 授業計画 第1回：子どもの健康概念と保健活動に必要な健康指標 【事前学修】子どもの健康に関する統計にはどのようなものがあるかを調べる。 【事後学修】子どもの健康に関する統計から問題点を見出し、保育者が実践すべきことをまとめる。 第2回：子どもの身体発育及び運動機能発達とその評価 【事前学修】子どもの発育を把握する方法について調べる。 【事後学修】運動機能発達の目安を理解すると共に、身体発育の評価ができるようになる。 第3回：子どもの生理機能の特徴と保育における留意点 【事前学修】生命を維持するために必要な生理機能について調べる。 【事後学修】大人と子どもの生理機能の違いを踏まえ、保育における留意点を考察しまとめる。 第4回：いろいろな感染経路と予防対策 【事前学修】子どもの病気の特徴について調べ、感染症に罹りやすいことを理解する。 【事後学修】予防接種の種類を理解すると共に、感染症の出席停止期間を正しく理解する。 第5回：ウイルスによる感染症と観察の視点 【事前学修】子どもが罹りやすいウイルス感染症について調べる。 【事後学修】子どもが罹りやすいウイルス感染症の特徴や症状について理解し、観察の視点を養う。 第6回：細菌による感染症と観察の視点 【事前学修】子どもが罹りやすい細菌感染症について調べる。 【事後学修】子どもが罹りやすい細菌感染症の特徴や症状について理解し、観察の視点を養う。					

第7回：アレルギー疾患と観察の視点

【事前学修】アレルギー疾患とそれぞれの疾患の症状について調べる。

【事後学修】アレルギー疾患の特徴や症状を理解し、観察の視点を養う。

第8回：消化器・呼吸器疾患と観察の視点

【事前学修】子どもが罹りやすい消化器疾患、呼吸器疾患について調べる。

【事後学修】消化器疾患の特徴や症状を理解し、観察の視点を養う。

第9回：血液・循環器・神経系の疾患と観察の視点

【事前学修】子どもが罹りやすい血液疾患、循環器疾患、神経系疾患について調べる。

【事後学修】血液疾患、循環器疾患、神経系疾患の特徴や症状を理解し、観察の視点を養う。

第10回：腎泌尿器・生殖器疾患と観察の視点

【事前学修】子どもが罹りやすい腎泌尿器疾患、生殖器疾患について調べる。

【事後学修】腎泌尿器疾患、生殖器疾患の特徴や症状を理解し、観察の視点を養う。

第11回：眼・耳・鼻の疾患と観察の視点

【事前学修】子どもが罹りやすい眼疾患、耳疾患、鼻疾患について調べる。

【事後学修】眼疾患、耳疾患、鼻疾患の特徴や症状を理解し、観察の視点を養う。

第12回：皮膚・筋骨格疾患と観察の視点

【事前学修】子どもが罹りやすい皮膚疾患、筋骨格疾患について調べる。

【事後学修】皮膚疾患、筋骨格疾患の特徴や症状を理解し、観察の視点を養う。

第13回：子どもの生活環境とこころの健康

【事前学修】心理的要因が関係して発症する疾患や症状、虐待の種類について調べる。

【事後学修】保育における観察の視点を養うと共に、配慮すべきことを考察しまとめる。

第14回：子どもの健康と日本における母子保健対策の実践

【事前学修】日本における母子保健対策について調べる。

【事後学修】妊娠中から出生後まで切れ目ない支援が行われていることを確認する。

第15回：家庭・他職種・地域の役割と保健活動における組織的取り組み

【事前学修】子どもの支援に携わる行政機関や専門職について調べる。

【事後学修】自分が居住している地域において、子どもはどのような支援を受けることができるのか調べる。

定期試験

○ テキスト
「授業で現場で役に立つ 子どもの保健テキスト」 小林美由紀編著. 診断と治療社
○ 参考書・参考資料等
「幼稚園教育要領解説」 (最新版) 文部科学省. フレーベル館
「保育所保育指針解説」 (最新版) 厚生労働省. フレーベル館
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 (最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館
○ 学生に対する評価
定期試験50% 小テスト50%
【教員の実務経験と授業の関連】 保健師として母子保健業務に携わった経験を活かし、子どもの健康や安全に配慮したかかわりについて教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育の心理学	1	前期	講義	2	森吉 里奈
○ 授業の到達目標及びテーマ 1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、子どもの発達を捉える視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解ができる。 3. 乳幼児の子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。					
○ 授業の概要 子どもの発達理解の基礎について、発達心理学、教育心理学をベースに進める。子どもはこれまでどのように理解され、またなぜ発達理解が必要であり、子どもの発達のために何が重要か等について理解する。また、子どもの発達援助に必要な基礎知識を身につける。 ※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。					
○ 授業計画 第1回：子どもの発達を理解することの意義 【事前学修】シラバスを見て、授業の概要等を確認する。キーワード：発達の原理、発達査定 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第2回：子どもの発達と環境 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：発達研究法、生活・環境と発達 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第3回：発達に関する理論 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ピアジェ、エリクソン、発達課題 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第4回：子ども観と保育観 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：子ども観・保育観、基本的生活習慣 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第5回：社会情動的発達 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：向社会的行動、自己と自己制御、仲間・友人関係 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第6回：身体的機能と運動機能の発達 【事前学修】小テストを行う。本時の調べ学習をする。キーワード：原始反射、粗大・微細運動 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第7回：認知の発達① 認知発達の概説 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：乳児の知覚機能、幼児期の知覚の特徴 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第8回：認知の発達② 幼児期の認知発達 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：心の理論、属性概念、共同注意、ふり遊び 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					

第9回：言語の発達とコミュニケーション① 幼児期初期 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：語彙の獲得、文法の獲得、コミュニケーション 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第10回：言語の発達とコミュニケーション② 幼児期の言語活動 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：言葉の理解・文字への興味(リテラシー) 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第11回：発達に偏りのある子どもの理解と支援 【事前学修】小テストを行う。本時の調べ学習をする。キーワード：発達障害、LD、ADHD、ASD 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第12回：乳幼児期の学びに関わる理論① 学びとは 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：学習、学びの理論、観察学習 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第13回：乳幼児期の学びに関わる理論② 動機づけ 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：動機づけ、自己効力感、学習性無力感、原因帰属 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第14回：乳幼児期の学びの過程と特性 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：社会的スキル、道德意識、愛着の形成 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第15回：乳幼児期の学びを支える保育 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：モデリング、保幼小の連携 【事後学修】定期試験に向けて、これまで学んだ内容を見直す。 定期試験 ○ テキスト 「保育の心理学 演習ブック(第2版)」松本峰雄監修 ミネルヴァ書房 ○ 参考書・参考資料等 資料を適宜配布する。 「幼稚園教育要領解説」(最新版)文部科学省・フレーベル館 「保育所保育指針解説」(最新版)厚生労働省・フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館 ○ 学生に対する評価 2回実施する小テスト20%、定期試験50%、レスポンスシート・受講態度30%で評価を行う。 【教員の実務経験と授業の関連】 スクールカウンセラーや大学付設発達支援センター、市町村主催の子育て相談・発達相談・就学相談、病院臨床・開業臨床に従事し、カウンセリングや発達相談を行ってきた。それらで得た知識・技能・実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
図画工作	1	前期	演習	1	丸田 多賀美
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：身近な素材を使った造形物の面白さを味わう。乳幼児期の発達段階に応じた造形遊びや表現について学ぶ。 到着目標 1) 素材の特徴を理解し、基礎的な表現技法を習得する。 2) 立体表現や色彩表現の多様性を理解し、子どもの感性から学ぶ造形表現の良さを感じ取る。					
○授業の概要 保育者として必要な美術および幼児造形教育の原理を理解させるとともに、美術を愛好する精神を養い、幼児造形教育の歴史や幼児の造形能力の発達段階を把握させ、幼児造形表現の指導に必要な基礎技能を習得させる。					
○授業計画 第1回：オリエンテーション 図工演習の内容を理解する。造形教育への理解を深める。 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料、画材に記名し保管する。 第2回：マスキングテープアート① テーマを各自で設定し、下絵をつくる。（主題設定） 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第3回：マスキングテープアート② 集めたテープや材料を貼り重ねて作品を進める。 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第4回：マスキングテープアート③ 集めたテープや材料を貼り重ねて作品を進める。 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第5回：マスキングテープアート④ 作品を仕上げ、相互に鑑賞する。 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第6回：飛び出すカード① 飛び出すカードの仕組みを理解し試作する。 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。					

第7回：飛び出すカード② 飛び出すカードの仕組みを理解し試作する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第8回：飛び出すカード③ 構想に従って製作する。（機構と美の調和）

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第9回：飛び出すカード④ 作品を仕上げる。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第10回：壁掛け人形① 人形制作の過程の理解と準備。（構想設定）

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第11回：壁掛け人形② 芯棒を製作し、粘土をつけて粗付けする。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第12回：壁掛け人形③ 構想に合わせて制作を進める。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第13回：壁掛け人形④ 構想に合わせて制作を進める。彩色し、作品を仕上げる。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第14回：壁掛け人形⑤ 彩色し、作品を仕上げる。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第15回：鑑賞 表現のいろいろ（教科書）と幼児教育への取り入れ方

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、試験範囲を復習する。

定期試験

○テキスト 幼児造形の基礎 〈乳幼児の造形表現と造形教材〉 樋口一成編著 萌文書林 プリント
○参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省、フレーベル館 「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省、フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館
○学生に対する評価 提出物 50% 試験 40% 授業への意欲、態度 10%
【教員の実務経験と授業の関連】 中学校、高校での美術科目を授業する講師の業務に就き、また、保育園や幼稚園、こども園での造形教室を定期的に開いていた。そこで得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保 育 原 理	1	前期	講義	2	神崎 光彦
○ 授業の到達目標及びテーマ ・保育の意義及び目的、保育に関する法令及び制度について理解する。 ・保育所保育指針における保育の基本について理解する。 ・保育の思想と歴史的変遷、現状と課題について理解する。					
○ 授業の概要 保育の意義及び目的を学び、現代の保育の必要性、「子ども子育て支援新制度」における保育所・幼稚園・認定こども園の違いを理解する。また、保育所保育指針の内容や子どもの福祉、保育の社会的役割と責任について理解を深める。					
○ 授業計画 第1回 保育について 【事前学修】テキストやシラバスを読み、授業の概要等を把握する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。 第2回 子どもと保育に関する法令 【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。 第3回 保育所について学ぶ 【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。 第4回 幼稚園について学ぶ 【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。 第5回 幼保連携型認定こども園について学ぶ 【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。 第6回 保育所保育の方法 【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。 第7回 保育の計画と評価 【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。					

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第8回 子ども理解に基づく保育

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第9回 地域社会で行う子育ての支援

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第10回 障害児を受け入れる保育

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第11回 保育におけるさまざまな配慮

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第12回 保育の歴史

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第13回 日本の保育の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第14回 世界の保育の現状と課題

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第15回 保育の専門性

【事前学修】テキストを読み、今回の授業の概要等を把握する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

定期試験（定期試験は講義内容に含まない）

○ テキスト

『改訂 保育原理 子どもの保育の基本理論の理解』

岡田耕一編著

萌文書林

○ 参考書・参考資料等

『保育所保育指針解説』（最新版） 厚生労働省 フレーベル館			
『幼稚園教育要領解説』（最新版） 文部科学省 フレーベル館			
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（最新版）			
内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館			
○ 学生に対する評価			
試験	60%	授業態度(意欲)	15%
		発表力	15%
		提出物(授業ノート含む)	10%
【教員の実務経験と授業の関連】			
保育士として乳幼児に関わった経験を活かし、子どもの発達や関わり方について教授する。			

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
音楽表現指導法	1	後期	演習	1	中村 佳代子
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：幼稚園教育要領、保育所保育指針等における幼児教育の基本を踏まえ、乳児保育の3つの視点や領域「表現」のねらい及び内容を理解し、年齢ごとの発達に相応しい音楽表現の指導内容を検討し、立案、実践する方法を身に付ける。 到達目標： 1. 領域「表現」のねらい及び内容をよく理解し、子どもの発達に合った音楽表現活動を実践することができるようになる。 2. 乳幼児期の発達を理解し、年齢に応じた音楽表現の活動内容と指導上の留意点を理解する。 3. 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができるようになる。 4. 模擬保育とその振り返りを通して保育を改善する視点を身に付け、子どもの興味や関心を引き付ける音楽活動ができるようになる。					
○授業の概要【実務経験を有する教員による講義】 乳児保育の3つの視点や領域「表現」のねらい及び内容について理解を深め、乳幼児期の年齢ごとの発達を理解して音楽表現の活動内容を主体的・対話的に学び、その指導方法を身に付ける。					
○授業計画 第1回：乳児保育の3つの視点や領域「表現」のねらい及び内容について、乳幼児期の音楽的発達と身体的・精神的発達と関連付けることを通して理解する。 【事前学修】：シラバス、テキストを確認して授業の内容を把握し、乳児保育の3つの視点や領域「表現」のねらい及び内容を読み理解する。 【事後学修】：授業の要点をまとめる。 第2回：手具（スカーフ・ボール等）を活用した音楽表現活動の指導法 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ、授業で扱った曲を練習する。 第3回：手具（フラフープ等）を活用した音楽表現活動の指導法 【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめ、授業で扱った曲を練習する。 第4回：楽器を活用した音楽表現活動の指導法、楽器の奏法と指導法 【事前学修】：テキストを確認して楽器について調べ学習をする。 【事後学修】：授業の要点をまとめ、楽器の名前、奏法を確認する。 第5回：身近な素材を活用した音楽表現活動の指導法 【事前学修】：テキストを確認して身近な素材について調べ学習をする。 【事後学修】：授業の要点をまとめ、授業で扱った曲を練習する。 第6回：音楽表現活動における教材の活用法について 【事前学修】：テキストを確認して教材について調べ学習をする。					

【事後学修】：授業の要点をまとめ、授業で扱った曲を練習する。 第7回：0～2歳児の発達と音楽表現指導法 ― グループで指導内容を考え立案 【事前学修】：テキスト（0～2歳児の発達）を確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業内に立案した指導計画の振り返りをする。 第8回：0～2歳児の発達と音楽表現指導法 ― 模擬保育と振り返り 【事前学修】：模擬保育の内容を確認し練習する。 【事後学修】：模擬保育を振り返り要点をまとめる。 第9回：3歳児の発達と音楽表現指導法 ― グループで指導内容を考え立案 【事前学修】：テキスト（3歳児の発達）を確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業内に立案した指導計画の振り返りをする。 第10回：3歳児の発達と音楽表現指導法 ― 模擬保育と振り返り 【事前学修】：模擬保育の内容を確認し練習する。 【事後学修】：模擬保育を振り返り要点をまとめる。 第11回：4歳児の発達と音楽表現指導法 ― グループで指導内容を考え立案 【事前学修】：テキスト（4歳児の発達）を確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業内に立案した指導計画の振り返りをする。 第12回：4歳児の発達と音楽表現指導法 ― 模擬保育と振り返り 【事前学修】：模擬保育の内容を確認し練習する。 【事後学修】：模擬保育を振り返り要点をまとめる。 第13回：5歳児の発達と音楽表現指導 ― グループで指導内容を考え立案 【事前学修】：テキスト（5歳児の発達）を確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業内に立案した指導計画の振り返りをする。 第14回：5歳児の発達と音楽表現指導法 ― 模擬保育と振り返り 【事前学修】：模擬保育の内容を確認し練習する。 【事後学修】：模擬保育を振り返り要点をまとめる。 第15回：幼児の音楽表現指導法のまとめ 【事前学修】：全ての習得した内容について復習する。 【事後学修】：これまでの学習内容の全てを復習する。 定期試験	
○テキスト 『新たなしいこどものうたあそび』木村鈴代編著 同文書院 『ユニバーサルデザインの音楽表現』星山麻木編著 萌文書林	
○参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館	
○学生に対する評価 授業への取り組み及び課題提出30% 授業内発表30% 定期試験40%	

【教員の実務経験と授業の関連】

小・中学校音楽専科及び保育・幼児教育現場でリトミック講師として、3歳児以上の園児を対象にしたリトミック活動に従事し、そこで得た幼児の実態、保育者の姿、幼児のための指導法、実務経験を、幼児教育科の学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子どもの健康と安全	1	後期	演習	1	大窪 智美
○ 授業の到達目標及びテーマ 1. 保健的観点に基づき、子どもの日常生活の援助ができるようになる。 2. 関連するガイドラインや近年のデータを理解し、保育現場において感染症予防・事故防止・危機管理が実践できるようになる。 3. 子どもの体調不良・けがに対し、適切な対応ができるようになる。 4. 保健計画とその評価について理解し、組織の一員として健康管理及び安全管理に取り組むことができるようになる。					
○ 授業の概要 関連するガイドラインや近年のデータを基に、保育現場で実践すべき感染症予防・事故防止・危機管理の実践内容について理解する。また、演習を通して、日常生活の援助技術及び病気やけがに対応する実践力を高める。					
○ 授業計画 第1回：保育現場における健康管理と安全管理 【事前学修】健康と安全を守るためのガイドラインや法規について調べる。 【事後学修】保育現場における環境整備の具体的方法について復習する。 第2回：子どもの事故防止と安全対策 【事前学修】保育中の事故の傾向について調べる。 【事後学修】保育現場における事故を想定し、それぞれの事故防止対策についてまとめる。 第3回：保育現場における危機管理 【事前学修】保育中に想定される災害・事件・事故についてまとめる。 【事後学修】保育現場において取り組むべき危機管理についてまとめる。 第4回：子どもに起きやすい体調不良時の症状 【事前学修】子どもに起きやすい体調不良時の症状について調べる。 【事後学修】症状に応じた観察方法についてまとめる。 第5回：子どもの体調不良時の適切な対応の仕方 【事前学修】症状に応じた観察内容について調べる。 【事後学修】症状別に保護者連絡の目安、至急受診の目安をまとめる。 第6回：与薬の要望に対する適切な対応 【事前学修】保育所保育指針解説に基づく与薬の注意事項について調べる。 【事後学修】与薬の注意事項について、教科書掲載の与薬依頼票と照らし合わせながら復習する。					

第7回：傷の種類と応急手当の方法

【事前学修】 傷の種類を調べる。

【事後学修】 身近なものを用いた応急手当を練習する。

第8回：突き指・捻挫・脱臼・骨折等の応急手当の方法

【事前学修】 突き指・捻挫・脱臼・骨折等の基本的応急手当について調べる。

【事後学修】 けがの部位に応じた使用物品を、身近にある道具の中から検討する。

第9回：子どもに起きやすいけがと応急手当の方法

【事前学修】 子どもに起きやすいけがについて調べる。

【事後学修】 適切な応急手当について復習する。

第10回：一次救命処置の重要性と実施上の留意点

【事前学修】 一次救命処置の内容や手順について調べる。

【事後学修】 乳児・小児・成人における手技の違いに気をつけながら練習する。

第11回：安全に配慮した抱き方・寝かせ方・遊び方

【事前学修】 子どもの各発達段階における体の特徴を調べる。

【事後学修】 適切な抱き方・寝かせ方・遊び方について、根拠を明確にしながら復習する。

第12回：安全に配慮したミルク・食事の与え方

【事前学修】 食事中に起こる事故について調べる。

【事後学修】 国が示すガイドラインと照らし合わせながら、授業での学びを復習する。

第13回：個別的配慮を必要とする子ども、障がいをもつ子どもへの対応

【事前学修】 個別的配慮が必要と考えられる慢性疾患について調べる。

【事後学修】 授業内容を踏まえ、保護者や主治医との連携により共有すべき内容を考察しまとめる。

第14回：アレルギー疾患を患っている子どもへの対応

【事前学修】 それぞれのアレルギー疾患における危機的な症状について調べる。

【事後学修】 国が示すガイドラインと照らし合わせながら、授業での学びを復習する。

第15回：健康管理及び安全管理の実施体制

【事前学修】 保健計画の内容や活用にあたっての留意点を調べる。

【事後学修】 各月における保健行事や流行しやすい病気を踏まえ、保健計画を立案する。

定期試験

○ テキスト 「授業で現場で役に立つ 子どもの健康と安全演習ノート」 小林美由紀編著．診断と治療社
○ 参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館
○ 学生に対する評価 定期試験50％ 小テスト30％ 実技試験20％
【教員の実務経験と授業の関連】 保健師として母子保健業務に携わった経験を活かし、子どもの健康や安全に配慮したかかわりについて教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育内容総論	1	後期	演習	1	神崎 光彦
○授業の到達目標及びテーマ ・ 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領について理解する。 ・ 保育実践は、「環境」を通して総合的に展開されるものであることを理解する。 ・ 乳幼児の興味や関心、発達の実情などに応じた具体的な指導のあり方を理解する。 ・ 多様な保育者像、環境、考え方を知り、自分なりの保育者像・環境のイメージをもつ。					
○授業の概要 保育内容とは、保育所・幼稚園・認定こども園などにおける保育の目的を達成するために展開される保育の営み全てであり、相互に関連し、総合的に指導・展開されるものであることを、資料や具体的な保育の実践事例をもとに学習する。					
○授業計画 第1回 保育内容総論と保育者の専門性 【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。 第2回 子どもの発達と保育内容 【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。 第3回 子ども理解と保育内容 【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。 第4回 観察・記録と保育内容 【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。 第5回 保育の基本「環境を通しておこなう保育」とは 【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。 第6回 保育の方法 【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後指導】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。					

第7回 保育内容と計画

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第8回 保育内容と領域

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後指導】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第9回 乳児の生活と保育内容

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第10回 乳児の生活と保育内容

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第11回 保育の多様な展開と保育内容

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第12回 幼保小の連携と接続

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第13回 保育内容と保育制度の歴史的変遷

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第14回 現代社会と保育内容

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

第15回 保育者になるということ

【事前学修】指針や要領解説に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し、ノート等に整理する。

定期試験（定期試験は講義内に含まない）

○テキスト
必要に応じて資料を配布する。
○参考書・参考資料
『保育所保育指針解説』（最新版） 厚生労働省 フレーベル館
『幼稚園教育要領解説』（最新版） 文部科学省 フレーベル館
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（最新版） 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館
○学生に対する評価
試験 60 % 授業態度(意欲) 15 % 発表力 15 % 提出物(授業ノート含む) 10 %
【教員の実務経験と授業の関連】
保育士として乳幼児に関わった経験を活かし、子どもの発達や関わり方について教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育実習指導Ⅰ（保育）	1	後期	演習	2	神崎 光彦

○授業の到達目標及びテーマ

- ・ 児童福祉施設や保育所の役割、機能について具体的に理解している。
- ・ 子ども理解、子どもへの保育及び保護者支援について総合的に理解している。
- ・ 自主実習から得た学びと課題から、具体的な自らの行為・行動、言葉掛けを明確にする。
- ・ 子どもの人権を具体的な園での一日の流れを、保育環境の中で理解している。
- ・ 保育の内容、計画、観察、記録及び自己評価について具体的に理解している。

○授業の概要

児童福祉施設や保育所の生活を観察、参加しながら、各施設の役割と機能、保育士の業務内容について学ぶ。子どもとの関わりを通して子ども理解を深める。事後指導から、自己評価を行い、今後の課題を生かした保育計画の立案、記録等について理解する。

○授業計画

（保育所実習の内容）

第1回 自主実習の評価を振り返る中での、保育所の役割と機能の理解

【事前学修】 保育所と幼稚園と認定こども園の違いについて調べノートにまとめる。

【事後学修】 保育所に預けている保護者支援で大切にすることを考察する。

第2回 保育所における生活と一日の流れについて理解

【事前学修】 0歳の生活の一日の流れについて考察する。

【事後学修】 1歳で起こりやすいトラブルについてノートにまとめる。

第3回 保育所保育指針に基づく保育の展開について理解

【事前学修】 保育のねらいについて調べノートにまとめる。

【事後学修】 児童憲章について考察する。

第4回 子どもの人権を尊ぶことからはじまる子どもの理解

【事前学修】 子どもを理解する上で、大切なことをノートにあげる。

【事後学修】 子どもを理解する時の具体的な言葉掛けを考察する。

第5回 子どもの観察とその記録により、守秘義務の観点からの子どもを理解

【事前学修】 子どもを観察する時のポイントをノートに具体的にあげる。

【事後学修】 記録を振り返り、課題を考察する。

第6回 子どもの発達過程についての理解と実習課題との関係性への理解

【事前学修】 2歳児クラスの大きな自立に向けての事柄を3つ調べノートにまとめる。

【事後学修】 睡眠時に気をつけなくてはならない事柄を考察する。

第7回 子どもへの援助や関わり方について理解

【事前学修】給食の際の援助で気をつける点を考察する。

【事後学修】自分から来ない園児への声掛けについて具体的にノートにまとめる。

第8回 保育内容・保育環境（人的・物的）への俯瞰的視点への理解

【事前学修】人的保育環境で危機管理の上で大切なことをノートにまとめる。

【事後学修】0歳児の保育で大切な物的環境を具体的に考察する。

第9回 保育の計画に基づく指導計画及び評価について理解

【事前学修】指導計画を立てる際の一番大切にすべき点を考察する。

【事後学修】評価においてどのような視点が要であるかを具体的にノートにまとめる。

第10回 子どもの発達過程に応じた保育内容についての理解

【事前学修】各クラスの月齢が違い園児への配慮点をノートにまとめる。

【事後学修】子どもの肯定感をあげる声掛けを具体的に考察する。

第11回 子どもの生活や遊びと保育環境について理解

【事前学修】遊びに集中できる環境をノートにまとめる。

【事後学修】遊びの連続性を大切にできる保育環境について考察する。

第12回 子どもの健康と安全への配慮について理解

【事前学修】午睡の意味について考察する。

【事後学修】お散歩の安全への配慮事項を具体的にノートにまとめる。

第13回 保育の計画・観察・記録の着眼への理解

【事前学修】全体的な計画の大切な点をノートにまとめる。

【事後学修】SDGsを鑑みた指導計画案を立ててみる。

第14回 専門職としての保育士の役割と職業倫理

【事前学修】記録に基づく省察と、自己評価をノートにまとめる。

【事後学修】保育士の小学校への引き継ぐ際への特に必要な倫理的視点を考察する。

第15回 職員間の役割分担や連携について理解し、実習簿を提出し園よりも評価をいただく。

【事前学修】保育士の役割と職業倫理についての関係性を調べノートにまとめる。

【事後学修】職員間の要になる具体的事柄について考察する。

○テキスト

『改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』著者代表 小櫃智子 (株)わかば社

○参考書・参考資料等

『幼稚園教育要領解説』（最新版）文部科学省 フレーベル館

『保育所保育指針解説』（最新版）厚生労働省 フレーベル館

『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館

○学生に対する評価

実習園からの評価 60%

実習記録などの提出物 40%

【教員の実務経験と授業の関連】

保育園での実習担当として関わった経験を活かし、保育実習に関して、実習生としての姿勢などについて教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子どもと音楽Ⅰ	1	通年	演習	2	中池 石原 大藁 篠原 落口 藤田 堀之内 中村 山口
○ 授業の到達目標及びテーマ テーマ 幼稚園教育要領における各領域の内容や保育所保育指針に示される保育の内容を総合的にとらえ、基礎的音楽技術（歌唱力やピアノ技術）を身につけ、幼児が音に親しみ表現を楽しむことができる音楽活動の実践力を身につける。 到達目標 幼稚園教育要領領域「表現」のねらい及び保育所保育指針に示される保育の内容を踏まえ、幼児の表現を活かし、楽しさを生み出す歌唱の指導ができる。音楽の基礎知識(階名、音符、リズム)を理解し、幼児と共に楽しく歌える童謡曲の弾き歌いができる。					
○ 授業の概要 幼稚園教育領域「表現」のねらい及び保育所保育指針に示される保育の内容を理解し、幼児の心身の発達の過程を踏まえながら、教育・保育現場で必要な音楽理論の基礎知識、ピアノ演奏の基礎技術を身につけ、教育・保育現場を想定した実践的な歌唱、伴奏、リズムを使った表現方法を学ぶ。					
○ 授業計画 第1回：オリエンテーション・領域「表現」のねらい及び内容 音楽理論と実技①階名について 【事前学修】領域「表現」について目を通しておく 【事後学修】授業で取り扱った内容をノートにまとめる 第2回：幼児の音楽的発達の過程について 音楽理論と実技②音符と休符について 【事前学修】階名、音符、休符について調べ学習を行う 【事後学修】本時の実践活動（階名唱やリズム打ち）を行う 第3回：幼児の声域とその成長過程にふさわしい教材について 音楽理論と実技③リズムについて 【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して） 【事後学修】ピアノ指導の振り返りや改善を行う 第4回：歌唱法について学ぶ 季節の歌（4月）の歌唱 音楽理論と実技④拍子について 【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して） 【事後学修】ピアノ指導の振り返りと4月の歌唱を行う 第5回：歌唱法について学ぶ 季節の歌（5月）の歌唱 音楽理論と実技⑤強弱、テンポについて 【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して） 【事後学修】ピアノ指導の振り返りと5月の歌唱を行う					

- 第6回：歌唱法について学ぶ（指揮／3拍子） 季節の歌（6月）の歌唱
音楽理論と実技⑥拍子、曲想について
【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して）
【事後学修】ピアノ指導の振り返りと6月の歌唱を行う
- 第7回：歌唱法について学ぶ 季節の歌（7月）の歌唱
【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して）
【事後学修】ピアノ指導の振り返りと7月の歌唱を行う
- 第8回：歌唱法について学ぶ 季節の歌（8月）の歌唱
【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して）
【事後学修】ピアノ指導の振り返りと8月の歌唱を行う
- 第9回：歌唱法について学ぶ 季節の歌（9月）の歌唱
【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して）
【事後学修】ピアノ指導の振り返りと9月の歌唱を行う
- 第10回：前期ピアノ実技発表（まとめ）に向けての曲の選定 季節の歌（10月）の歌唱
【事前学修】ピアノの基礎技術の習得（課題曲の練習を通して）
【事後学修】ピアノ実技発表曲の練習と10月の歌唱を行う
- 第11回：前期ピアノ実技発表曲の指導を受ける（譜読み） 季節の歌（11月）の歌唱
【事前学修】前期ピアノ実技発表曲の練習を行う
【事後学修】ピアノ実技発表曲ピアノ指導の振り返りと改善、11月の歌唱を行う
- 第12回：前期ピアノ実技発表曲の指導を受ける（曲想） 季節の歌（12月）の歌唱
【事前学修】前期ピアノ実技発表曲の練習を行う
【事後学修】ピアノ実技発表曲ピアノ指導の振り返りと改善、12月の歌唱を行う
- 第13回：前期ピアノ実技発表曲の指導を受ける（テンポ） 季節の歌（1月）の歌唱
【事前学修】前期ピアノ実技発表曲の練習を行う
【事後学修】ピアノ実技発表曲ピアノ指導の振り返りと改善、1月の歌唱を行う
- 第14回：前期ピアノ実技発表曲の指導を受ける（強弱） 季節の歌（2, 3月）の歌唱
【事前学修】前期ピアノ実技発表曲の練習を行う
【事後学修】ピアノ実技発表曲ピアノ指導の振り返りと改善、2, 3月の歌唱を行う
- 第15回：ピアノ実技（まとめ）の発表
【事前学修】前期ピアノ実技発表曲の練習を行う
【事後学修】ピアノ実技発表の振り返り
- 第16回：コードネーム（ハ長調の3コードC F G₇）の理解と実技①ハ長調のきらきら星
【事前学修】ハ長調によるきらきら星の歌唱を行う
【事後学修】ハ長調のコードネームを理解し、ピアノで弾けるように練習する
- 第17回：コードネーム（ハ長調の3コードC F G₇）の理解と実技②「むすんでひらいて」の弾き歌い
【事前学修】「むすんでひらいて」歌唱と表現活動を行う
【事後学修】ハ長調のコードネーム奏法による「むすんでひらいて」弾き歌いの練習を行う
- 第18回：コードネーム（ヘ長調の3コード F B_b C₇）の理解と実技③ヘ長調の「きらきら星」

【事前学修】へ長調による「きらきら星」の歌唱を行う

【事後学修】へ長調のコードネームを理解し、ピアノで弾けるように練習する

第19回：コードネーム（へ長調の3コード F B $\flat$ C $\natural$ ）の理解と実技④「メリーさんのひつじ」の弾き歌い

【事前学修】「メリーさんのひつじ」の歌唱を行う

【事後学修】へ長調のコードネーム奏法による「メリーさんのひつじ」の弾き歌いの練習を行う

第20回：コードネーム（二長調の3コード D G A $\natural$ ）の理解と実技⑤二長調の「きらきら星」

【事前学修】二長調による「きらきら星」の歌唱を行う

【事後学修】二長調のコードネームを理解し、ピアノで弾けるように練習する

第21回：コードネーム（二長調の3コード D G A $\natural$ ）の理解と実技⑥「あくしゅでこんにちは」

【事前学修】「あくしゅでこんにちは」の歌唱を行う

【事後学修】二長調のコードネーム奏法による「あくしゅでこんにちは」の弾き歌いの練習を行う

第22回：コードネーム（ト長調の3コード G C D $\natural$ ）の理解と実技⑦ト長調の「きらきら星」

【事前学修】ト長調による「きらきら星」の歌唱を行う

【事後学修】ト長調のコードネームを理解し、ピアノで弾けるように練習する

第23回：コードネーム（ト長調の3コード G C D $\natural$ ）の理解と実技⑧「ふしぎなポケット」

【事前学修】「ふしぎなポケット」の歌唱を行う

【事後学修】ト長調のコードネーム奏法による「ふしぎなポケット」の弾き歌いの練習を行う

第24回：教育・保育実習での音楽活動について

【事前学修】幼児教育現場で行われている音楽活動について調べ学習を行う

【事後学修】授業で取り扱った内容をノートにまとめる

第25回：生活の歌弾き歌い演習①「おはようのうた」

【事前学修】「おはようのうた」の歌唱を行う

【事後学修】実技試験に向けての練習を行う

第26回：生活の歌弾き歌い演習②「おかえりのうた」

【事前学修】「おかえりのうた」の歌唱を行う

【事後学修】実技試験に向けての練習を行う

第27回：生活の歌弾き歌い演習③「さようならのうた」

【事前学修】「さようならのうた」の歌唱を行う

【事後学修】実技試験に向けての練習を行う

第28回：生活の歌弾き歌い演習④「おべんとう」

【事前学修】「おべんとう」の歌唱を行う

【事後学修】実技試験に向けての練習を行う

第29回：ハ長調二長調へ長調ト長調の3コードとそれぞれの調の童謡曲の弾き歌い(試験に向けて)

【事前学修】ハ長調二長調へ長調ト長調の3コードの確認を行う

【事後学修】実技試験に向けての練習を行う

第30回：目標のまとめと確認を行う（試験リハーサル）

【事前学修】実技試験曲の練習を行う

【事後学修】リハーサルでの演奏の振り返り、練習を行う

※30回の一斉授業（歌唱法）と個人指導を行う。個人指導では、第1回～15回でピアノ技術の習得を、第16回～30回で「季節の歌・生活の歌」弾き歌いの習得を行う。 定期試験：ハ長調、ニ長調、ヘ長調、ト長調の3コードと童謡弾き歌いの実技テスト	
○ テキスト	「うたってつくってあそぼう」 幼児表現教育研究会編著 音楽之友社 「うたとあそび」 鹿児島市立幼稚園協会編集 「幼児のための音楽教育」 神原雅之 鈴木恵津子編著 教育芸術社
○ 参考書・参考資料等	「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省.フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）文部科学省.フレーベル館 「幼保連携認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省
○ 学生に対する評価	全授業を通じた学びの過程（グループ活動、個人発表、歌唱実技）（50%） 実技試験（25%） 課題曲合格状況（25%）
【教員の実務経験と授業の関連】 中学校での実務経験（音楽）を通して得られた歌唱や器楽の効果的指導の方法を幼児教育科学生に教授する。	

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
体育実技	1	通年	実技	1	伊達 幸博
○ 授業の到達目標及びテーマ 幼児期の運動遊びによる心身への効果や発達特性に見合った実践の意義やねらいを理解する。また、生涯を通じて運動を日常的に取り入れることの重要性を体感して、運動に親しむ資質や能力の基礎を養う。 幼児期の体づくり運動や運動遊びを自主的に展開するための具体的な内容や方法を理解し、基礎的な知識と技能を身に付ける。					
○ 授業の概要 子どもの発育・発達に運動遊びが果たす役割は非常に大きく、また、幼稚園・保育園等において運動遊びは生活の一部として取り入れられており、保育者にとって、運動技能の習得は不可欠である。保育園・幼稚園で日常的に取り組んでいる運動遊び・伝承遊びの指導内容を増やし、理論に基づいた指導者としての実践力を高める。					
○ 授業計画 第1回 オリエンテーション レクリエーションとしての運動遊び I 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認し、参考書に目を通して調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。 第2回 レクリエーションとしての運動遊び II 【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。 第3回 体づくりとしての運動遊び I 【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。 第4回 体づくりとしての運動遊び II 【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。 第5回 体づくりとしての運動遊び III 【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。 第6回 表現運動としての運動遊び I 【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。 第7回 表現運動としての運動遊び II 【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。 第8回 表現運動としての運動遊び III					

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第9回 器械運動を取り入れた運動遊び I

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第10回 器械運動を取り入れた運動遊び II

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第11回 器械運動を取り入れた運動遊び III

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第12回 器械運動を取り入れた運動遊び IV

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第13回 ボールを使った運動遊び I

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第14回 ボールを使った運動遊び II

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第15回 スキルテストと評価

【事前学修】スキルテストのシミュレーションを含め、事前練習をおこなう。

【事後学修】スキルテストの結果について、評価と改善をノート等にまとめる。

第16回 器具を用いた運動遊び I

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第17回 器具を用いた運動遊び II

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第18回 ボールを使った運動遊び III

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第19回 ボールを使った運動遊び IV

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第20回 ボールを使った運動遊び V

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第21回 器具を用いた運動遊び III

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第22回 器具を用いた運動遊び IV

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第23回 器具を用いた運動遊び V

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第24回 ニュースポーツを取り入れた運動遊び I

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第25回 ニュースポーツを取り入れた運動遊び II

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第26回 運動会種目を取り入れた運動遊び I

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第27回 運動会種目を取り入れた運動遊び II

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第28回 野外での運動遊び I

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第29回 野外での運動遊び II

【事前学修】参考書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第30回 スキルテストと評価 フィードバック

【事前学修】スキルテストのシミュレーションを含め、事前練習をおこなう。

【事後学修】スキルテストの結果について、評価と改善をノート等にまとめる。

○ テキスト
『楽しさをおとした心の元気づくりーレクリエーション支援の理論と方法ー』 公益財団法人 日本レクリエーション協会 授業で配布する学習資料
○ 参考書・参考資料等
「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館 「幼児体育理論と実践」前橋 明編集代表 大学教育出版 「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 杉原隆、河邊貴子 ミネルヴァ 書房 「保育と幼児期の運動あそび」 岩崎洋子 他 萌文 「幼児体育指導者検定公式テキスト2・3級」 公益財団法人 日本幼少年体育協会 タイケン出版
○ 学生に対する評価
授業への参加態度30%、実技試験50%、課題レポート20%。 実技試験の結果は評価基準と合わせて学生にフィードバックする。
【教員の実務経験と授業の関連】
小学校や NPO 法人で運動指導員としての業務に就き、そこで得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
特別支援教育・保育	1	通年	演習	2	森吉 里奈
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：発達障がいなど特別の支援を必要とする子どもの発達や教育を保障する為の知識、理論、支援方法を理解する。 1. 特別の支援を必要とする乳幼児への教育・保育・福祉制度などの支援体制や支援の方法について理解する。 2. 特別の支援を必要とする乳幼児の発達や学習の課程を理解するとともに、学習・生活上の困難について基礎的知識を身につける。 3. 教育・保育課程上の位置づけを理解し、個別の指導計画や支援計画の意義を理解する。					
○授業の概要 特別の支援を必要とする子どもへの保育・教育について、障がいの特徴と個別の配慮について理解する。 また特別の支援を必要とする子どもへの教育・保育活動の展開上の留意点・配慮点、子ども同士のかかわり、環境設定（人的、物的）上の工夫について演習を通して体験的に理解する。 保護者や家族に対する支援、他専門職機関や教育機関との連携、他分野における支援（医療・福祉・教育・法律）について事例検討を通して理解を深める。 ※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。					
○授業計画 第1回：教育・保育における「特別なニーズ」について 【事前学修】シラバスを見て授業の概要等を確認する。キーワード：ノーマライゼーション、インクルーシブ 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第2回：障がい児教育・保育の基本（障がいとは何か：ICF（国際生活機能分類）などからの理解） 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ICF、ICD-10、DSM-5 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第3回：特別な支援を必要とする子どもを支援するための価値観 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：QOL、バリアフリー、ユニバーサルデザイン 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第4回：障がい児教育・保育の歴史 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：統合保育、加配、就学基準 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第5回：特別の支援を必要とする幼児の教育・保育、福祉制度 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：障害者手帳、就学相談、個別の教育支援計画 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第6回：障がい児及び特別な配慮の必要な子どもへの基礎的理解 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：特別支援学校・支援学級、通級、児童発達支援等 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					

- 第7回：発達支援の実際、教育・保育事例①（指示が聞けない・ルールが守れない・勝ちにこだわる）
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：集団内配慮
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第8回：発達支援の実際、教育・保育事例②（ことばがうまく話せない・食事面での気になる行動）
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：学習の困難さ、感覚のスクリーニング
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第9回：発達支援の実際、教育・保育事例③（トイレに行けない・活動の切り替えができない）
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：安心感、見通し、トークン(ご褒美)
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第10回：発達支援の実際、教育・保育事例④（運動遊びが苦手・絵や工作が苦手）
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：粗大運動、微細運動
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第11回：発達支援の実際、教育・保育事例⑤（行事に参加できない・その場からいなくなる）
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：安全確保、部分参加
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第12回：発達支援の実際、教育・保育事例⑥（気になる行動がある・特別の教育的ニーズを持つ）
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：自傷、パニック、かんしゃく
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第13回：特別な配慮を必要とする子どもへの教育課程及び保育の支援計画
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：個別の支援計画、長期・目標、医療・福祉の場
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第14回：特別な配慮を必要とする子どもへの教育課程及び保育の支援計画の実際・小学校などとの接続
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：支援会議、移行支援シート、支援の場の広がり
- 【事後学修】前期の総まとめをする。
- 第15回：保護者支援の方法・前期講義の振り返り
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ペアレント・トレーニング、障害理解、
保護者との連携
- 【事後学修】前期の総まとめをする。
- 第16回：障がいの種類と基礎的知識
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：知能、発達特性、感覚過敏、二次障害、愛着
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第17回：知的障害(知的発達症) ダウン症
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。
- 第18回：自閉スペクトラム症(ASD)
- 【事前学修】本時の調べ学習をする。
- 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第19回：視覚障害 聴覚障害 肢体不自由

【事前学修】本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第20回：言語障害 場面緘黙

【事前学修】本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第21回：注意欠如・多動症(ADHD)

【事前学修】本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第22回：限局性学習症(LD) 発達性協調運動症(DCD)

【事前学修】本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第23回：病弱・身体虚弱 重度・重複障害 医療的ケア児

【事前学修】本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第24回：障がい児とライフコース

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：学習支援、行動支援、生活支援、対人関係の支援

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第25回：発達支援方法の基礎的理解①(心の支援・発達論による支援)

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：自尊感情、情緒障害、スモールステップ

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第26回：発達支援方法の基礎的理解②(行動への支援)

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：応用行動分析、適応行動、ほめ方・しかり方

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第27回：発達支援方法の基礎的理解③(環境調整による支援・他の子どもとの育ちあい)

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：構造化、認知、感覚過敏、園・クラス運営

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第28回：発達支援方法の基礎的理解④(周囲の人の連携による支援・他の子どもの親の理解)

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：専門機関、コーディネーター、サポートネット

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第29回：実践ワーク(8つの支援領域)

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：得意なこと・伸ばしたいこと、集団適応等

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第30回：ビデオ視聴をし、支援の実際について知る・総まとめ

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：心理支援

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

定期試験

○テキスト
星山 麻木 編著 「障害児保育ワークブック インクルーシブ保育・教育をめざして」 萌文書林
○参考書・参考資料等
教員が作成した資料を適宜配布する 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館
○学生に対する評価
定期試験50%、レスポンスシート・受講態度30%、提出物・発表20%で評価を行う。
【教員の実務経験と授業の関連】 スクールカウンセラーや大学付設発達支援センター、市町村主催の子育て相談・発達相談・就学相談、病院臨床・開業臨床に従事し、カウンセリングや発達相談を行ってきた。それらで得た知識・技能・実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
幼児理解・教育相談	2	前期	講義	2	森吉 里奈
○ 授業の到達目標及びテーマ 1. こども理解のためのアセスメント方法や見立てについて知る。 2. 教育相談の諸技法について知り、カウンセリングマインドの姿勢と技能を身につける。 3. 共に子どもを見守り育てていくものとしての保護者理解と内外資源の活用について理解する。					
○ 授業の概要 ・保育者・教師の行うアセスメントや教育相談の役割と特徴を理解し、教育相談の基礎にある理論を学ぶ。 ・幼児期の子どもとその家庭に関する臨床的問題の実際、及び現代の保育・教育現場における諸問題を理解する ・多様な保護者、様々な困難を抱える子どもの理解の仕方・つながり方の原則を理解し、内外の資源と連携しながら支援するための知識と技能を習得する。最後3回はテキストをまとめ提出する。 ※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。					
○ 授業計画 第1回：保育・教育における教育相談の意義 【事前学修】シラバスを見て、授業の概要等を確認する。キーワード：教育相談の意義 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第2回：アセスメントに関する基礎的理解① 生理心理社会モデル 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：生理心理社会モデル、気質、観察・記録 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第3回：アセスメントに関する基礎的理解② 発達検査 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：発達検査、ワーキングメモリ、情報処理モデル 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第4回：保幼小連携の接続期支援と子どもの理解 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：接続期、要録、就学支援シート 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第5回：カウンセリングの基礎理論 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：力動論、来談者中心療法、遊戯療法、認知行動療法 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第6回：カウンセリングの実際 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：カウンセリングの進め方 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第7回：相談のプロセスとコンサルテーション・コーディネーション 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：予防・早期発見・介入、チーム援助 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第8回：保育の場の保護者相談と園内体制・地域での連携 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：子育て支援、教育相談体制、関係機関と連携 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					

第9回：開発的・予防的カウンセリングの理解と方法① ストレスマネジメント 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：SST、ストレスマネジメント 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第10回：開発的・予防的カウンセリングの理解と方法② SOSの出し方教育等 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：SOSの出し方教育、生命(いのち)の安全教育 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第11回：多様なニーズのある子どもの教育相談と支援体制 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：就学相談、巡回相談、特別支援教育支援員 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第12回：集団への不適応 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：集団作り、学級経営、不登校、いじめ、危機管理 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第13回：「愛着とトラウマの問題」を抱える子どもの気づきと関わり① 愛着とトラウマの課題を持つ子とは 【事前学修】本時の調べ学習・発表準備をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第14回：「愛着とトラウマの問題」を抱える子どもの気づきと関わり② 虐待的な養育を受けた子どもの特徴 【事前学修】本時の調べ学習・発表準備をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第15回：「愛着とトラウマの問題」を抱える子どもの気づきと関わり③ 介入時(興奮・不穏時)の配慮の要点 【事前学修】本時の調べ学習・発表準備をする。 【事後学修】定期試験に向けて、これまで学んだ内容を見直す。 定期試験 ○ テキスト 西田泰子・中垣真通・市原真記 著 「興奮しやすい子どもには愛着とトラウマの問題があるのかもー教育・保育・福祉の現場での対応と理解のヒントー」遠見書房 ○ 参考書・参考資料等 資料を適宜配布する。 「幼稚園教育要領解説」(最新版)文部科学省・フレーベル館 「保育所保育指針解説」(最新版)厚生労働省・フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館 ○ 学生に対する評価 定期試験50%、レスポンスシート・受講態度30%、提出物・発表20%で評価を行う。 【教員の実務経験と授業の関連】 スクールカウンセラーや大学付設発達支援センター、市町村主催の子育て相談・発達相談・就学相談、病院臨床・開業臨床に従事し、カウンセリングや発達相談を行ってきた。それらで得た知識・技能・実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。
--

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子ども家庭支援の心理学	2	前期	講義	2	森吉 里奈
○ 授業の到達目標及びテーマ - 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 - 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。 - 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 - 子ども及び保護者の精神保健とその課題について、臨床心理学的に理解する。					
○ 授業の概要 生涯発達の視点から人間の一生を概観する。また、家族の一生について学ぶ。子どもをもつ家族の多様性について触れ、その支援の実際について学ぶ。教科書に沿って講義は行うが、適宜、配付資料を用いる。 ※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。					
○ 授業計画 第1回：乳幼児期の発達 【事前学修】シラバスを見て、授業の概要等を確認する。キーワード：生涯発達、自尊感情 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第2回：学童期の発達 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ライフサイクル、ギャングエイジ、第二性徴 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第3回：青年期の発達 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ジェンダー、アイデンティティ、進路・職業選択 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第4回：成人期・老年期の発達 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：キャリアサイクル、認知症 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第5回：子育ての経験と親としての育ち① 「母性」「父性」から「養育性」へ 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：男女雇用機会均等法 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第6回：子育ての経験と親としての育ち② 産後うつ等 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：孤独、オキシトシン、聴くこと 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第7回：親子関係・家族関係の理解(ライフコースと仕事・子育て) 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：親としての発達、アタッチメント、システム理論 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第8回：多様な家庭とその理解① ひとり親家庭 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ひとり親家庭、ステップファミリー 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					

第9回：多様な家庭とその理解② 貧困等 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：貧困、DV 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第10回：特別な配慮を要する家庭① ヤングケアラー 【事前学修】調べ学習をする。キーワード：ヤングケアラー 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第11回：特別な配慮を要する家庭② 障害のある子の保護者・外国籍家庭の支援 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：障害のある子の保護者・外国籍家庭の支援 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第12回：子どもの生活・生育環境とその影響① ネット依存 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：遺伝と環境、デジタル・メディア(ネット依存) 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第13回：子どもの生活・生育環境とその影響② 愛着障害 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：虐待、トラウマ、愛着障害 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第14回：子どもの心の健康に関わる問題① ストレスとストレスマネジメント 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：障害受容、ICF、ストレスとストレスマネジメント 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第15回：子どもの心の健康に関わる問題② ストレス反応 【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ストレス反応、心のケア、緘黙、チック 【事後学修】定期試験に向けて、これまで学んだ内容を見直す。 定期試験 ○ テキスト 「子ども家庭支援の心理学 演習ブック」 松本峰雄監修 ミネルヴァ書房 ○ 参考書・参考資料等 資料を適宜配布する。 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館 ○ 学生に対する評価 定期試験70%、レスポンスシート・受講態度30%で評価を行う。 【教員の実務経験と授業の関連】 スクールカウンセラーや大学付設発達支援センター、市町村主催の子育て相談・発達相談・就学相談、病院臨床・開業臨床に従事し、カウンセリングや発達相談を行ってきた。それらで得た知識・技能・実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。
--

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
造形表現	2	前期	講義	1	丸田 多賀美
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：乳幼児の造形表現に必要な基本的な知識を理解し、独自の表現を伸ばし、感性を豊かにする。 到達目標 1) 乳幼児期の表現の特性を理解するとともにモダンテクニックの技法など、幼児でも楽しめる表現技法について理解する。 2) 幼児期における造形表現の重要性を理解し、造形教育活動に必要な技法を身につける。 3) 様々な表現技法を応用し、実際に自分でも楽しんで作品を制作することができる。 4) 造形の授業を通して子どもたちの造形活動を改善する視点を身に付ける。 5) 造形活動の動向を知り、保育構想の向上に活用することができる。					
○授業の概要 幼児の造形表現の理解に必要な基本的な知識を習得させるとともに、幼児の造形表現の指導に必要な基礎実技について演習させる。					
○授業計画 第1回：「造形表現演習の計画」 造形表現演習の目標と内容について理解する。 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。 第2回：「モダンテクニック」① マーブリング・フロッタージュ・コラーージュの技法について理解する。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第3回：「モダンテクニック」② スパッタリング・ドリッピング・吹流しの技法について理解する。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第4回：「モダンテクニック」③ スタンピング・デカルコマニー・バチックの技法について理解する。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第5回：「家族の肖像画」① これまで学んできたモダンテクニックの性質を活かした「家族の服」「背景」のデザインを工夫する。下描きを完成させる。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。					

る。

第6回：「家族の肖像画」② これまで学んできたモダンテクニックの性質を活かした「家族の服」「背景」のデザインを工夫する。素材を増やす。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第7回：「家族の肖像画」③ デザインをもとに「家族の肖像」をテーマに制作する。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第8回：「家族の肖像画」④ 作品を仕上げ、相互に鑑賞する。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第9回：「粘土のケーキ」① 参考作品を見ながら、魅力的な造形のケーキまたは食べ物を粘土で再現するためのデザインを考案する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第10回：「粘土のケーキ」② 各自で集めたデコレーションパーツやホイップ粘土の特性を活かして、それぞれが考案したケーキのオブジェを粘土で創作する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第11回：「粘土のケーキ」③ 作品を仕上げ、相互に鑑賞させる。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第12回：「砂絵」① 砂絵の特性を理解し、参考作品を見ながらオリジナルの下絵をデザインする。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第13回：「砂絵」② デザインをもとに砂絵を制作する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。次回に必要な材料、資料を集める。

第14回：「砂絵」③ 作品を仕上げ、相互に鑑賞させる。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第15回：「幼児造形指導の構え」 これまでの造形活動を踏まえ、幼児の造形表現の基本原理についてプリントを中心にまとめる。また、指導者の条件についてまとめる。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。試験範囲を復習する。 試験
○テキスト 幼児造形の基礎 〈乳幼児の造形表現と造形教材〉 樋口一成編著 萌文書林、 プリント
○学生に対する評価 提出物 50% 試験 40% 授業態度 10%
【教員の実務経験と授業の関連】 中学校、高校での美術科目を授業する講師の業務に就き、また、保育園や幼稚園、こども園での造形教室を定期的に開いていた。そこで得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
レクリエーション理論	2	前期	講義	2	伊達 幸博
○ 授業の到達目標及びテーマ レクリエーション支援者の役割は、対象者がレクリエーション活動を楽しむことを通して心を元気にできるよう、達成感や良好なコミュニケーションといったレクリエーション活動の楽しさを感じる心の仕組みに基づき、レクリエーション支援を行うことである。その為に、対象者のライフステージに即した心の元気づくりの課題を理解し、親子、地域住民がともに楽しみ気持ちをひとつにできるようにレクリエーション活動を実施することで地域のきずなづくりに貢献できることが求められる。本講義では理論と実践を通して、現代社会の様々な教育課題、地域の課題を認識し、レクリエーションがどのように貢献できるか考察し、理解するとともに、レクリエーションの実践に必要な知識・技術を習得し、将来家庭・職場・地域等において実践できる能力を養うことを目的とする。					
○ 授業の概要 レクリエーションの主旨（目的）は、心を元気にすることであり、レクリエーション支援者は、人々が自主的、主体的に心を元気にできるようになることを目的に、ゲームや歌、ダンスといったレクリエーション活動を用いて手助けする指導者である。本講義では、以上の目的を達成するために、理論について学び、実践を通じてレクリエーションの価値を認識することで、レクリエーション支援者としての実践力向上を図る。この授業は、日本レクリエーション協会公認、レクリエーション・インストラクターの資格取得の主たる教科目として位置づけられている。なお、レクリエーションインストラクター取得単位に関しては、本講義以外に、保育実習ⅡあるいはⅢの単位を取得すること、学内及び各県や市町村レクリエーション協会が提供する事業に参加（事業参加）または、スタッフ（スタッフ参加）として参加することが必要である。					
○ 授業計画 第1回：オリエンテーション レクリエーションの言葉の主旨、レクリエーション支援の目的、レクリエーションインストラクターの役割 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認し、教科書に目を通して調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第2回：楽しさを通じた心の元気づくり 対象者の心の元気 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第3回：対象者の心の元気づくりの課題 心の元気と地域のきずな 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第4回：良好な集団づくりの理論 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第5回：自主的、主体的に楽しむ力を育む理論 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。					

第6回：リスクマネジメントの方法

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第7回：個々の活動の習得 創作活動

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第8回：個々の活動の習得 ダンス I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第9回：個々の活動の習得 ダンス II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第10回：個々の活動の習得 運動遊び I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第11回：個々の活動の習得 運動遊び II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第12回：個々の活動の習得 ニュースポーツ I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第13回：個々の活動の習得 ニュースポーツ II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第14回：模擬指導（プログラム）作成と実践

【事前学修】調べ学習を通じ、指導案の概略をまとめておく。

【事後学修】理解が不十分な内容について、教科書やインターネット資料を検索して学びを深めるとともに実践に向けた改善をおこなう。

第15回：振り返りと総合考察 PDCAに基づくプログラムの評価と改善

【事前学修】模擬指導プログラムの相互評価を行い、改善点をまとめておく

【事後学修】ブラッシュアップされた内容を現場実践し、学びを深める

定期試験

○ テキスト 『楽しさをおとした心の元気づくりーレクリエーション支援の理論と方法ー』公益財団法人 日本レクリエーション協会 授業で配布する学習資料
○ 参考書・参考資料等 インターネット資料 日本レクリエーション協会「レクぽ」 https://www.recreation.jp/
○ 学生に対する評価 試験 50% 授業への取り組み 50%
【教員の実務経験と授業の関連】 レクリエーション・インストラクターとして、小中高校や社会人を対象とした活動の実務経験に基づき、そこで得た知識、技能を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育実習指導Ⅱ	2	前期	演習	1	神崎 光彦
○授業の到達目標及びテーマ ・ 保育所の役割や機能について、具体的実践を通して理解を深められている。 ・ 保育実習Ⅰを踏まえ、子ども理解、子どもの保育及び保護者支援について、総合的に理解している。 ・ 保育計画の立案、実践、記録などの振り返り及び自己評価について、理解を深められている。 ・ 実習における自己課題を明確化して、保育実習Ⅱに臨む。					
○授業の概要 保育所保育を、具体的実践から総合的に理解する。保育、保護者・家庭への支援と地域社会との連携、保育士の業務と職業倫理について理解を深める。記録、指導計画の作成・実践、実習における自己課題を明確化する。					
○授業計画 第1回 保育実習Ⅰ（保育・施設）についての振り返り 【事前学修】 シラバスを確認して、講義の概要を理解し、テキストに目を通しておく。 【事後学修】 保育実習Ⅰ（保育・施設）についての振り返りを行い、ノート等にまとめる。 第2回 養護と教育が一体となつて行われる保育の意味を理解 【事前学修】 養護の意味を調べてノートにまとめる。 【事後学修】 教育に関する法律を考察する。 第3回 保育所の社会的役割と責任を理解 【事前学修】 子どもをめぐる社会課題を調べてノートにまとめる。 【事後学修】 子どもに関する法律について考察する。 第4回 観察に基づく保育の理解 子どもの心身の状態や活動の観察を行うことによる子ども理解 【事前学修】 子どもを観察することの意味を考察する。 【事後学修】 朝のお集りで、子どもの心身の状態をどこで把握するかノートにまとめる。 第5回 保育士等の動きや実践を観察することにより、関わり方や援助方法についての理解 【事前学修】 援助の方法で気をつけなくてはならない点について具体的にノートにまとめる。 【事後学修】 関わり方の際に、使用できる言葉掛けの言葉を考察する。 第6回 保育所における生活の流れや展開を把握し、実践できる事柄を理解 【事前学修】 保育所での生活の流れを午前・午後でノートにイメージしてまとめる。 【事後学修】 朝おやつの意味を考察してみる。 第7回 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援 【事前学修】 子育て支援の大きな役割を考察する。					

【事後学修】保護者支援で一番大切だと考える事柄をノートにまとめる。

第8回 環境を通して行う保育、生活や遊びを通し総合的に行う保育実践を理解

【事前学修】遊び込める環境とは、どんな条件が必要かノートにまとめる。

【事後学修】人の環境で一番大切だと思うことを考察する。

第9回 地域社会との連携について理解

【事前学修】地域と保育園が連携できる具体的な事柄をノートにまとめる。

【事後学修】地域の行事について考察する。

第10回 指導計画の作成、実践、観察、記録、評価

【事前学修】SDGSを意識した遊びを考え試作してみる。

【事後学修】保育実習Ⅰの課題の解決方法をノートにまとめてみる。

第11回 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程について理解

【事前学修】保育実習Ⅰの省察をした際の良かった点をノートにまとめる。

【事後学修】具体的なSDGSを意識した指導案を考察する。

第12回 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価について理解

【事前学修】季節の歌を選び歌唱してみる。

【事後学修】弾き歌いを練習する。

第13回 保育士の業務と職業倫理 多様な保育の展開と保育士の業務について理解

【事前学修】人権についての法律を調べてノートにまとめてみる。

【事後学修】守秘義務について考察する。

第14回 多様な保育の展開と保育士の職業倫理について理解

【事前学修】保育士の倫理観について調べてノートにまとめる。

【事後学修】保育士の労働環境について考察する。

第15回 自己課題の明確化

保育士を目指す者として、今後の自己課題を探り、実習簿を提出し園より評価をいただく。

【事前学修】保育実習Ⅱの目標をノートにまとめる。

【事後学修】自己課題を解決するための具体的方法を考察する。

○テキスト

『改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』著者代表 小櫃智子 (株)わかば社
必要に応じて資料配布、各講座に適した絵本

○参考書・参考資料等

『幼稚園教育要領解説』（最新版）文部科学省、フレーベル館
『保育所保育指針解説』（最新版）厚生労働省、フレーベル館
『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館

○学生に対する評価

実習園からの評価 60 %

実習記録などの提出物 40 %

【教員の実務経験と授業の関連】

保育園での実習担当として関わった経験を活かし、保育実習に関して、実習生としての姿勢などについて教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
幼児音楽	2	前期	演習	1	中村 佳代子
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：乳幼児期にふさわしい音楽活動の内容理解と実践 到達目標： 1. 乳幼児の年齢に応じた音楽的な発達、表現活動の特徴を理解し、実践を通して理解を深められるようにする。 2. グループ及び個人で乳幼児期の音楽活動を立案、実践し音楽の指導法を習得する。 3. グループ活動を通して音楽的な創造表現活動を行い、その方法と技術を習得する。					
○授業の概要 乳幼児期における音楽的環境の重要性を考えるとともに子どもの実際をふまえながら、年齢や季節、行事に応じた音楽活動の指導を多角的に行えるように実践し考察する。 なお、本科目はレクリエーションインストラクター資格取得にもかかわる。					
○授業計画 第1回：オリエンテーション 乳幼児期の音楽活動について。 自主的、主体的に楽しむ力を育てる展開方法について 【事前学修】：シラバス、テキストを確認して授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業の要点をまとめる。 第2回：0～2歳児を対象とした音楽活動の指導法(モデル・プログラム)とロールプレイ 【事前学修】：テキスト(0～2歳児の指導法)を確認して、授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業で取り扱った内容を振り返り要点をまとめる。 第3回：3歳児を対象とした音楽活動(ダンス・ソング)の指導法とロールプレイ 【事前学修】：テキストを確認して本時の調べ学習をする。 【事後学修】：授業で取り扱った内容を振り返り、要点をまとめ練習する。 第4回：4歳児を対象とした音楽活動(ダンス・ソング)の指導法とロールプレイ 【事前学修】：テキストを確認して本時の調べ学習をする。 【事後学修】：授業で取り扱った内容を振り返り、要点をまとめ練習する。 第5回：5歳児を対象とした音楽活動(ダンス・ソング)の指導法 【事前学修】：テキストを確認して本時の調べ学習をする。 【事後学修】：授業で取り扱った内容を振り返り、要点をまとめ練習する。 第6回：「附属幼稚園児との音楽あそび」(年長児)の指導計画を立案、準備 【事前学修】：テキスト(年長児の指導法)を確認し、授業の内容を把握する。 【事後学修】：授業で取り扱った内容を振り返る。 第7回：「附属幼稚園児との音楽あそび」(年長児)準備、ロールプレイ 【事前学修】：指導計画を見直し、教材を準備する。 【事後学修】：ロールプレイについて振り返り、改善点をまとめる。					

第8回：「附属幼稚園児との音楽あそび」(年長児)の実践と振り返り	反省と課題を考察する
【事前学修】：実践内容をシミュレーションし、準備する。	
【事後学修】：実践を振り返り、反省と課題をまとめる。	
第9回：手具を使った音楽あそび① スカーフ	
【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。	
【事後学修】：授業の要点をまとめ、授業で扱った曲を練習する。	
第10回：手具を使った音楽あそび② ボール	
【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。	
【事後学修】：授業の要点をまとめ、授業で扱った曲を練習する。	
第11回：手具を使った音楽あそび③ フラフープ	
【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。	
【事後学修】：授業の要点をまとめ、授業で扱った曲を練習する。	
第12回：創作音楽表現活動① 絵本の特徴、音楽の特徴を考察し、表現方法を考察する	
【事前学修】：テキストを確認して授業の内容を把握する。	
【事後学修】：授業の要点をまとめる。	
第13回：創作音楽表現活動② 挿入歌、ダンスを創作する	
【事前学修】：授業の内容を把握し、調べ学習をする。	
【事後学修】：授業で取り扱った内容を振り返り、練習する。	
第14回：創作音楽表現活動③ 創作活動	
【事前学修】：創作活動をシミュレーションし、準備する。	
【事後学修】：創作活動の内容を振り返り、練習する。	
第15回：創作音楽表現活動④ 発表と鑑賞 まとめ	
【事前学修】：発表の準備をおこないシミュレーションする。	
【事後学修】：表現活動の発表と鑑賞を振り返り、反省と課題をまとめる。これまでの学習内容の全てを復習する。	
定期試験	
○テキスト	
『ユニバーサルデザインの音楽表現』星山麻木編著 萌文書林	
『新たなしい子どものうたあそび』木村鈴代編著 同文書院	
『楽しさをとoshita心の元気づくりーレクリエーション支援の理論と方法ー』公益財団法人 日本レクリエーション協会	
○参考書・参考資料等	
「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省・フレーベル館	
「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省・フレーベル館	
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館	
○学生に対する評価	
授業への取り組み及び課題提出30% 授業内発表30% 定期試験40%	

【教員の実務経験と授業の関連】

小・中学校音楽専科及び保育・幼児教育現場でリトミック講師として、3歳児以上の園児を対象にしたリトミック活動に従事し、そこで得た幼児の実態、保育者の姿、幼児のための指導法、実務経験を、幼児教育科の学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
人間関係	2	後期	演習	1	森吉 里奈
授業の到達目標： 1. 「人間関係」に関わる現代社会の状況について理解する。 2. 人と関わる力の発達について理解する。 3. 人と関わる力を育てる保育者の役割と援助について理解する。 4. コミュニケーションに関わる演習で感じたことを言葉にし、自己理解・他者理解につなげる。					
○授業の概要 「人と関わる力」をキーワードとして、配付資料を中心に学ぶ。適宜、事例をもとに“何が起きているのか”を考え、関わり方を工夫する実践力を培う。またワークを実施し、自分自身についても考えていく。 ※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。					
○授業計画 第1回：領域「人間関係」 【事前学修】シラバスを見て、授業の概要等を確認する。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第2回：社会の変化と「人間関係」のねらい 【事前学修】キーワード(AI時代、生態学的システム理論)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第3回：人間関係力① アサーション 【事前学修】キーワード(シャイ、アサーション)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第4回：人間関係力② メンタライゼーション 【事前学修】キーワード(メンタライゼーション、二次感情)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第5回：0・1・2歳児における人との関わりの発達と保育者の援助 【事前学修】キーワード(ポルトマン、ハーロウ、三項関係)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第6回：3・4・5歳児における人との関わりの発達と保育者の援助 【事前学修】キーワード(遊び、心の理論、自己肯定感)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第7回：愛着形成の理論と実際 【事前学修】キーワード(ボウルビィ、SSP、感情の社会化)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第8回：子どもの自立心 【事前学修】キーワード(非認知能力、マズロー、自己実現)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					

第9回：子どもの自己主張と自己発揮 【事前学修】 キーワード(能動性、自己感、イヤイヤ期)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第10回：コミュニケーション能力① 事例検討作成 【事前学修】 キーワード(コミュニケーション、小集団)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第11回：コミュニケーション能力② 事例検討 【事前学修】 キーワード(ファシリテーター、協同学習)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第12回：いざこざ・けんかなどのトラブル 【事前学修】 キーワード(自己主張、自己抑制、問題解決)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第13回：共感・思いやり 【事前学修】 キーワード(共感、HSC、バウンダリー)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第14回：道徳性・規範意識 【事前学修】 キーワード(視点取得、道徳性、規範意識)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。 第15回：個と集団の育ち 【事前学修】 キーワード(学級集団、仲間、安心感)をもとに、本時の調べ学習をする。 【事後学修】 定期試験に向けて、これまで学んだ内容を見直す。 定期試験
○テキスト なし
○参考書・参考資料等 資料を適宜配布する。 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館
○学生に対する評価 定期試験70%、レスポンスシート・受講態度30%で評価を行う。
【教員の実務経験と授業の関連】 スクールカウンセラーや大学付設発達支援センター、市町村主催の子育て相談・発達相談・就学相談、病院臨床・開業臨床に従事し、カウンセリングや発達相談を行ってきた。それらで得た知識・技能・実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
幼児体育	2	後期	演習	1	伊達 幸博
○ 授業の到達目標及びテーマ 「子どもの生活は遊びである」と言われるが、幼児期の子どもの遊びは身体活動を伴うことが多く、これらの身体活動を伴う遊びは、子どもの心身の発育発達に大きく関与している。 本授業では、体育実技で学んだ内容をさらに深め、子どもにとっての運動遊びとは何か、また、運動遊びの指導の進め方を習得すること、またその際、単に動きの指導や遊びを教える指導にとどまらず、心身の発達を視野において保育活動の一環としての運動遊びの指導の実践力を高めることを目標とする。					
○ 授業の概要 現代では子どもは生活様式や遊びの変化により、からだを動かす機会が少なくなり、こどもの体力低下が社会的課題となっており、本来、乳幼児・児童期に日常での遊びや生活で得られた基礎的な体力や運動能力が養われない状況にある。このような社会環境の変化により、以前よりも保育者として運動遊び時間の指導力が求められている。子どもが自主的・主体的に楽しめる運動遊び内容を構想したり、運動遊びの知識・技術を身につけ実践し、それらの活動を振り返ったりする中から課題を見つけ、解決のための方法について検討しながら、保育実践力を身につける。 なお、本科目はレクリエーションインストラクター資格取得にかかわる。					
○ 授業計画 第1回 オリエンテーション、アイスブレーキング、徒手体操、移動運動 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認するとともに、教科書に目を通して調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第2回 アイスブレーキングの習得、移動運動の構成と動きの習得 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第3回 用具を使わない素手の運動遊びの理論と展開方法 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第4回 手や足で扱える用具を用いた運動遊びの理論と展開方法 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第5回 運動遊びの指導案（プログラム）作成と実践発表 【事前学修】調べ学習を通じ、指導案の概略をまとめておく。 【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。 第6回 固定してある施設の器具を利用した運動遊びの理論と展開方法 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。					

第7回 運動遊びにおけるホスピタリティ

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第8回 模擬保育に向けた指導内容の検討と指導案（プログラム）作成

【事前学修】調べ学習を通じ、指導案の概略をまとめておく。

【事後学修】理解が不十分な内容について、教科書やインターネット資料を検索して学びを深めるとともに実践に向けた改善をおこなう。

第9回 模擬保育に向けた指導実践の発表 I

【事前学修】内容のシミュレーションを含め、教材準備をおこなう。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第10回 模擬保育に向けた指導実践の発表 II

【事前学修】内容のシミュレーションを含め、教材準備をおこなう。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第11回 幼児を対象としたニュースポーツの理論と展開方法

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第12回 集団運動遊び

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第13回 運動会種目、ダンス・トラックゲーム・フィールドゲーム

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第14回 幼児コーディネイトトレーニングの理論とプログラム習得

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第15回 親子体操指導の習得

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

定期試験

○ テキスト

『楽しさをとoshita心の元気づくり—レクリエーション支援の理論と方法—』公益財団法人 日本レクリエーション協会

授業で配布する学習資料

○ 参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館 「幼児体育理論と実践」前橋 明編集代表 大学教育出版 「幼児期における 運動発達と運動遊びの指導」 杉原隆、河邊貴子 ミネルヴァ書房 「保育と幼児期の運動あそび」 岩崎洋子 他 萌文 「幼児体育指導者検定公式テキスト2・3級」 公益財団法人 日本幼少年体育協会 タイケン出版
○ 学生に対する評価 授業への参加態度30%、試験50%、課題レポート20%。
【教員の実務経験と授業の関連】 小学校やNPO 法人で運動指導員としての業務に就き、そこで得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
スポーツ・レクリエーション 理論	2	後期	講義	2	伊達幸博
○授業の到達目標及びテーマ この科目は、スポーツ、レクリエーションに対する正しい視点を持ち、対象者にレクリエーションやスポーツを指導していく中で必要な知識と実技を身につけていく事を目的とする。 スポーツレクリエーション指導者の役割は、対象者がスポーツレクリエーション活動を楽しむことを通して心を元気にできるよう、達成感や良好なコミュニケーションといったスポーツレクリエーション活動の楽しさを感じる心の仕組みに基づき、支援を行うことである。 本講義では理論と実践を通して、現代社会の様々な教育課題、地域の課題を認識し、スポーツレクリエーションがどのように貢献できるかを考察し、理解するとともに、スポーツレクリエーションの実践に必要な知識・技術を習得し、将来家庭・職場・地域等において実践できる能力を養う。					
○授業の概要 スポーツレクリエーションについて実践的に学ぶことを目的とする。具体的には、競技方法やレクリエーションを学び、実際に体育館や運動場においてスポーツやレクリエーションの実技も習得するとともに、学生の健康増進に努め、楽しみを分かち合いながらチームワークを学ぶ。この授業は、日本レクリエーション協会公認、スポーツレクリエーション指導者の資格取得の主たる教科目として位置づけられている。なお、スポーツレクリエーション指導者の資格取得に関しては、本講義以外に、レクリエーション論、保育実習ⅡあるいはⅢの単位取得、学内及び各県や市町村レクリエーション協会が提供する事業に参加（事業参加）または、スタッフ（スタッフ参加）として参加することが必要である。					
○授業計画 第1回：スポーツ・レクリエーション概論 スポーツ・インライフの理念、スポーツ・レクリエーションをとおした心の元気づくり 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認し、教科書に目を通して調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第2回：スポーツ・レクリエーション生理学（1） ステージに応じた体の仕組み 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第3回：スポーツ・レクリエーション生理学（2） ステージに応じた必要な運動／実施の留意点 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第4回：スポーツ・レクリエーション心理学 スポーツ・レクリエーション活動がもたらす心理的効果／動機づけの理論と自主的主体的な活動に					

つなげる心の仕組み

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第5回：生理学・心理学に基づいたスポーツ・レクリエーション活動の実践（1）

幼児期の体の仕組みに合わせた楽しい運動実践

【事前学修】調べ学習を通じ、指導案の概略をまとめておく。

【事後学修】理解が不十分な内容について、教科書やインターネット資料を検索して学びを深めるとともに実践に向けた改善をおこなう

第6回：生理学・心理学に基づいたスポーツ・レクリエーション活動の実践（2）

学童期の体の仕組みに合わせた楽しい運動実践

【事前学修】内容のシミュレーションを含め、教材準備をおこなう。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第7回：生理学・心理学に基づいたスポーツ・レクリエーション活動の実践（3）

高齢期の体の仕組みに合わせた楽しい運動実践

【事前学修】内容のシミュレーションを含め、教材準備をおこなう。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第8回：個々の活動の習得 ニュースポーツ

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第9回：個々の活動の習得 インディアカ I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第10回：個々の活動の習得 インディアカ II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第11回：個々の活動の習得 フットホッケー I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第12回：個々の活動の習得 フットホッケー II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第13回：個々の活動の習得 アルティメット（ドッチビー使用） I

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第14回：個々の活動の習得 アルティメット（ドッチビー使用） II

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った動きを復習し、ポイントをノート等にまとめる。

第15回：社会におけるスポーツ・レクリエーションの必要性

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習をする。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

定期試験

○テキスト

スポーツ・レクリエーション指導者養成テキスト 公益財団法人 日本レクリエーション協会
その他、配布資料

○参考書・参考資料等

インターネット資料 日本レクリエーション協会「レクぽ」<https://www.recreation.jp/>

○学生に対する評価

試験 50% 授業への取り組み 50%

【教員の実務経験と授業の関連】

スポーツ・レクリエーション指導者として、小中高校や社会人を対象とした活動の実務経験に基づき、そこで得た知識、技能を教員として幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保健講義	2	後期	講義	1	大窪 智美
○ 授業の到達目標及びテーマ 1. 性について理解し、社会生活において互いを尊重できるようになる。 2. 適切なストレス解消法を身につけて、心身ともに健康な生活を送ることができるようになる。 3. 保育者に起きやすい健康障害を知り、予防に努めることができるようになる。 4. 社会人として日々の健康管理が重要であることを理解し実践できるようになる。					
○ 授業の概要 日々の生活行動や嗜好品の愛用などが、自分の健康を害することに繋がっていないか見つめ直すと共に、生涯を見据えた健康管理を実践するための知識を養う。					
○ 授業計画 第1回：多様な性の理解と社会生活 【事前学修】多様な性について調べる。 【事後学修】多様な性を受け入れ互いを尊重し合うことの重要性について考察しまとめる。 第2回：妊娠のメカニズムといろいろな避妊の方法 【事前学修】妊娠のメカニズムについて調べる。 【事後学修】授業内容を復習しそれぞれの避妊方法の利点と欠点をまとめる。 第3回：性感染症とその予防方法 【事前学修】性感染症にはどのようなものがあるか調べる。 【事後学修】良好な男女交際を続けるために大切なことを考察しまとめる。 第4回：生殖器系の疾患と早期発見の方法 【事前学修】生殖器系の疾患にはどのようなものがあるか調べる。 【事後学修】生殖器系の疾患の症状を復習し、早期発見のための心掛けをまとめる。 第5回：恋愛における必要な知識と意識 【事前学修】ドメスティックバイオレンスについて調べる。 【事後学修】恋愛における対等な関係と幸せな恋愛について考察しまとめる。 第6回：アルコールによる健康被害と日々の心得 【事前学修】アルコールの多飲が体に及ぼす影響について調べる。 【事後学修】飲酒するにあたっての社会的責任について考察しまとめる。					

第7回：おしゃれによる健康被害と日々の心得

【事前学修】体に悪影響を及ぼすおしゃれについて考察する。

【事後学修】自分の健康や子どもの健康に悪影響がないおしゃれについて考察しまとめる。

第8回：薬物依存のきっかけと健康被害

【事前学修】違法薬物といわれるものにはどのようなものがあるか調べる。

【事後学修】違法薬物の恐ろしさを振り返り薬物の誘惑に負けない心構えについて考察しまとめる。

第9回：こころの不調を招く要因と対処法

【事前学修】10代から50代までの各年代別死亡原因の1位から3位までを調べる。

【事後学修】こころの不調に陥らないために日々気をつけることを考察しまとめる。

第10回：ストレスの捉え方と付き合い方

【事前学修】ストレスについて調べる。

【事後学修】現代社会におけるストレスの原因を復習し、回避する方法を考察しまとめる。

第11回：うつ病とは 依存症とは

【事前学修】うつ病と依存症の原因と症状について調べる。

【事後学修】うつ病と依存症の早期発見のポイントをまとめる。

第12回：健康と日々の笑いの重要性

【事前学修】日常生活における笑いの場面と気持ちの変化を振り返る。

【事後学修】日常生活に笑いの機会を取り入れる工夫を考察しまとめる。

第13回：健康を害する危険な食事

【事前学修】日々の食事で心掛けていることをまとめる。

【事後学修】健康を考慮し、消費者として心掛けることをまとめる。

第14回：保育者に起きやすい健康障害

【事前学修】保育者の仕事内容を踏まえ、起こる可能性がある健康障害についてまとめる。

【事後学修】保育者に起きやすい健康障害を踏まえ、保育における留意点を考察しまとめる。

第15回：保育者としての感染症予防対策

【事前学修】「保育所における感染症予防対策ガイドライン」を読む。

【事後学修】感染症予防対策における保育者としての心掛けをまとめる。

定期試験

○ テキスト

随時資料を配布

○ 参考書・参考資料等
「フレッシュマンセミナーテキスト」初年次教育テキスト編集委員会編集、東京電機大学出版局
○ 学生に対する評価
定期試験100%
【教員の実務経験と授業の関連】
保健師として成人保健に携わった経験を活かし、社会人としての健康の保持増進について教授する。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
社会的養護Ⅱ	2	後期	演習	1	青野 孝洋
○授業の到達目標及びテーマ 社会的養護にかかわる法制度、施設、専門職について学ぶ 1. 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。 2. 施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 3. 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する 4. 相談援助の方法・技術について理解する。 5. 児童虐待の防止と家庭支援について理解する。					
○授業の概要 児童虐待や子育てに関する相談など子どもの子育てを取り巻く課題は複雑化するとともに多様化している。そんな中で、子どもの育ちを支える社会資源の一つとして社会的養護（家庭養護を含む）がある。本講義では、社会的養護にかかわる法制度や施設、専門職について学び社会的養護に関する基礎的な理解を深める。また、政府から発表されている社会的養育ビジョンをもとに今後の社会的養護のあり方について学びを深める。 なお、本科目はレクレーションインストラクターの資格にかかわる科目である。					
○授業計画 第1回：社会的養護と子どもの権利擁護 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認するとともに、テキストを読み、「子どもの権利擁護」についてイメージしておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第2回：社会的養護の対象となる子どもの理解と支援のための理論（信頼関係づくりの理論） 【事前学修】テキストを読み、「社会的養護の対象となる子ども」についてイメージしておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第3回：社会的養護の機能（日常生活支援、自立支援） 【事前学修】テキスト読み、社会的養護の機能についてイメージしておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。 第4回：社会的養護の機能（心理的支援、治療的支援） 【事前学修】テキストを読み、興味のある心理的支援や治療的支援について調べておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。					

第5回：社会的養護にかかわる専門職

【事前学修】テキストを読み、保育士以外の専門職について、調べておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第6回：社会的養護における人権擁護と職業倫理

【事前学修】テキストを読み、社会的養護の対象となる子ども達が守られるべき人権について考えておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第7回：社会的養護にかかわる相談援助の知識、技術（信頼関係づくりの方法）と社会資源

【事前学修】テキストを読み、社会的養護の対象となる子ども達との信頼関係作りに大切なことは何か考えておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第8回：社会的養護の実例（事例検討：母子生活支援施設）

【事前学修】テキストを読み、「母子生活支援施設」についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第9回：社会的養護の実例（事例検討：児童養護施設）

【事前学修】テキストを読み、「児童養護施設」についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第10回：社会的養護の実例（事例検討：障がい児通所施設）

【事前学修】テキストを読み、「障がい児通所施設」についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第11回：社会的養護の実例（事例検討：乳児院）

【事前学修】テキストを読み、「乳児院」についてイメージしておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノートにまとめる。

第12回：社会的養護における支援計画（アセスメントとプランニング）

【事前学修】テキストを読み、支援計画の必要性について、考えておく。

【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。

第13回：社会的擁護における介入、記録、評価（インターベンション、モニタリング、エバリュエーション） 【事前学修】テキストを読み、前回のアセスメントとプランニングからどのような介入ができるかイメージしておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。
第14回：社会的養護における家庭支援 【事前学修】テキストを読み。社会的養護の対象となる子ども達に必要な家庭の環境とは何か考える。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。
第15回：社会的養護の課題と展望 【事前学修】これまでの講義を通して、子ども達に求められる保育士とはどのような保育士か考えておく。 【事後学修】本時のまとめをして、再確認しノート等にまとめる。
○テキスト 「図解で学ぶ保育 社会的養護Ⅱ」 杉山宗尚・原田旬哉 編著 萌文書林 レクリエーションインストラクター資格に関するテキスト
○参考書・参考資料等 適宜、プリントを配布する 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館
○学生に対する評価 試験：50% 受講態度、提出物：50%
【教員の実務経験と授業の関連】 児童発達支援、放課後等デイサービスにおける勤務経験で得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。 また、子育て支援、親子支援を行っている団体の研修会等の講師等を行った際に、保護者からの相談に応じ、その中で得た現場の声を、保育者に求められる資質として幼児教育科学生の育成に活かしている。

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
造形表現指導法	2	後期	演習	1	丸田 多賀美
○授業の到達目標及びテーマ テーマ：身近な素材を使って乳幼児の個性的な想像力に共感しながら発展させ、独自の表現を伸ばし、感性を豊かにする。 到達目標 1) 幼児の認識、思考、動きなどを視野に入れた造形表現の重要性を理解している 2) 幼児の造形的な体験を考慮した情報機器及び機材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 3) 造形表現指導案の構成を理解し、具体的に保育を想定した指導案を作成することができる。 4) 造形の授業を通して造形活動を改善する視点を身に付ける。 5) 造形活動の動向を知り、保育構想の向上に活用することができる。					
○授業の概要 造形表現における幼児の発達過程を理解しながら、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。					
○授業計画 第1回：「美術文化との出会い」 霧島ジュニア美術展を鑑賞して幼稚園、保育園の子供作品の実態を把握する。 【事前学修】シラバスを確認して授業の概要等を確認する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第2回：「石ころのおぼけ」① 作品例を鑑賞しながら製作の狙いを理解し、身近な材料を収集する。 【事前学修】必要な材料、資料を集める方法、場所について調べておく。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第3回：「石ころのおぼけ」② 幼稚園現場での授業を想定しながら、独自の発想で構想を広げる。 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第4回：「石ころのおぼけ」③ 材料を加工しお互いに創作の手伝いをしながら完成させる。（模擬保育） 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第5回：「石ころのおぼけ」④ 完成した作品の良さをお互いに評価し、幼稚園での活動に活かす方法を考える。ロールプレイを通してこどもへの声掛け、気を付ける点を学ぶ。（模擬保育） 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。					

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第6回：「落ち葉を使って絵を描こう」① 作品例を鑑賞して製作の狙いを理解する。

【事前学修】必要な材料、資料を集める方法、場所について調べておく。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第7回：「落ち葉を使って絵を描こう」② 制作工程を理解して材料を収集し、構想を練る（模擬保育）

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第8回：「落ち葉を使って絵を描こう」③ 形の面白さを考えてハサミを利用し、糊で貼る（模擬保育）

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第9回：「落ち葉を使って絵を描こう」④ 完成した作品の良さを互いに評価し、幼稚園での活動に活かす方法を考える。ロールプレイを通してこどもへの声掛け、気を付ける点を学ぶ。（模擬保育）

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第10回：「子供たちと似顔絵制作会」① 作品例を鑑賞して制作と指導の狙いを理解する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第11回：「子供たちと似顔絵制作会」② 制作を通して顔の表情を描くポイントを理解する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第12回：「子供たちと似顔絵制作会」③ 制作を通してクレヨンの技法、表現の多様性を学ぶ。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第13回：「子供たちと似顔絵制作会」④ 指導案を作成し幼稚園現場での授業を想定する。

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。

第14回：「子供たちと似顔絵制作会」⑤ 実際に子供たちと制作会をする。（実践）

【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、次回に必要な材料、資料を集める。 第15回：「子供たちと似顔絵制作会」⑥ 実践経験を踏まえて、幼稚園現場での活動に活かす方法を考える。 【事前学修】必要な材料、資料を用意する。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。配布された資料を保管し、試験範囲を復習し、指導案を仕上げる。 試験				
○テキスト	幼児造形の基礎	〈乳幼児の造形表現と造形教材〉	樋口一成編著	萌文書林
プリント				
○参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省．フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省．フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省．フレーベル館				
○学生に対する評価 提出物 50％ 試験 40％ 授業への意欲、態度 10％				
【教員の実務経験と授業の関連】 中学校、高校での美術科目を授業する講師の業務に就き、また、保育園や幼稚園、こども園での造形教室を定期的に関わっていた。そこで得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。				

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子どもと音楽Ⅱ	2	通年	演習	2	中池 石原 落口 篠原 藤田 山口
○ 授業の到達目標及びテーマ テーマ 領域「表現」のねらい及び内容を踏まえながら、教育・保育現場に必要な「生活の歌」「季節の歌」「合奏」の音楽活動に関する知識や技能を高め、総合的な音楽活動を指導、実践する力を身につける。 到達目標 幼児の発達や学びの段階を理解し、段階に応じた意欲や能力を引き出せるような表現活動や演奏技能を身につけることができる。音楽に親しみ豊かな感性を養うための音楽活動（弾き歌いやリズム楽器、合奏）の構成、指導ができる。					
○ 授業の概要 領域「表現」のねらい及び内容についての理解を深め、幼児の感性や創造性を豊かにする音楽活動（歌唱、ピアノ、リズム奏、簡単な合奏）について実践的に学び、表現活動を支援するための知識、技能を身につける。					
○ 授業計画 第1回：オリエンテーション・領域「表現」について 【事前学修】指導要領等の領域「表現」について目を通しておく 【事後学修】本科目の授業計画を理解し、1年間の目標を立てる 第2回：乳幼児の音楽的成長と発達について 【事前学修】4月、5月の季節の歌について歌唱や弾き歌いの練習を行う 【事後学修】授業での学びの内容をまとめる 第3回：教育実習Ⅰにおける音楽活動について 【事前学修】教育実習Ⅰ指定曲（6月）について弾き歌いの練習を行う 【事後学修】教育実習Ⅰ指定曲についてのピアノ指導の振り返りを行う 第4回：教育実習Ⅰにおける音楽活動について（具体例） 【事前学修】教育実習Ⅰ指定曲（生活の歌）について弾き歌いの練習を行う 【事後学修】教育実習Ⅰ指定曲についてのピアノ指導の振り返りを行う 第5回：教育実習Ⅰで行う音楽活動のグループワーク（1） 【事前学修】グループワーク活動で行う季節の歌の弾き歌いの練習を行う 【事後学修】グループワーク活動振り返りを行い、改善を行う（弾き歌いの練習） 第6回：教育実習Ⅰで行う音楽活動のグループワーク（2） 【事前学修】グループワーク活動で行う季節の歌の弾き歌いの練習を行う（導入や流れも含めて） 【事後学修】グループワーク活動振り返りを行い、改善を行う（弾き歌いの練習） 第7回：教育実習Ⅰでの音楽活動についての振り返り 【事前学修】教育実習時の自身の音楽活動の様子をまとめる 【事後学修】授業での学びの内容をまとめる 第8回：保育現場における音楽活動の具体例について					

【事前学修】保育実習園からの指定曲（7月）について弾き歌いの練習を行う

【事後学修】保育実習指定曲についてのピアノ指導の振り返りを行う

第9回：生活の歌「おはようのうた」

【事前学修】「おはようのうた」の歌唱を行う

【事後学修】コードネーム奏法での「おはようのうた」弾き歌いの練習を行う

第10回：生活の歌「おべんとう」

【事前学修】「おべんとう」の歌唱を行う

【事後学修】コードネーム奏法での「おべんとう」弾き歌いの練習を行う

第11回：生活の歌「おかえりのうた」「さようならのうた」

【事前学修】「おかえりのうた」の歌唱を行う

【事後学修】コードネーム奏法での「おかえりのうた」弾き歌いの練習を行う

第12回：生活の歌「さようならのうた」

【事前学修】「さようならのうた」の歌唱を行う

【事後学修】コードネーム奏法での「さようならのうた」弾き歌いの練習を行う

第13回：季節の歌の簡易伴奏法（ハ長調）

【事前学修】ハ長調の歌唱を行う

【事後学修】ピアノ指導の振り返りとハ長調の季節の歌の弾き歌いを行う

第14回：季節の歌の簡易伴奏法（二長調）

【事前学修】二長調の歌唱を行う

【事後学修】ピアノ指導の振り返りと二長調の季節の歌の弾き歌いを行う

第15回：季節の歌の簡易伴奏法（ヘ長調）

【事前学修】ヘ長調の歌唱を行う

【事後学修】ピアノ指導の振り返りとヘ長調の季節の歌の弾き歌いを行う

第16回：季節の歌の簡易伴奏法（ト長調）

【事前学修】ト長調の歌唱を行う

【事後学修】ピアノ指導の振り返りとト長調の季節の歌の弾き歌いを行う

第17回：教育実習における音楽活動の具体例について

【事前学修】教育実習Ⅱ指定曲（10月）について弾き歌いの練習を行う

【事後学修】教育実習Ⅱ指定曲についてのピアノ指導振り返りを行う

第18回：教育実習Ⅱで行う音楽活動のグループワーク（1）

【事前学修】グループワーク活動で行う季節の歌の弾き歌いの練習を行う

【事後学修】グループワーク活動振り返り、改善を行う（弾き歌いの練習）

第19回：教育実習Ⅱで行う音楽活動のグループワーク（2）

【事前学修】グループワーク活動で行う季節の歌の弾き歌いの練習を行う

【事後学修】グループワーク活動振り返り、改善を行う（弾き歌いの練習）

第20回：教育実習Ⅱでの音楽活動についての振り返り

【事前学修】教育実習時の自身の音楽活動の様子をまとめる

【事後学修】授業での学びの内容をまとめる

第21回：歌唱指導について(発声)

【事前学修】「どんぐり」「まつぼっくり」の歌唱を行う

【事後学修】授業での学びの内容をまとめる

第22回：歌唱指導について(言葉)

【事前学修】「バスごっこ」「おもちゃのチャチャチャ」の歌唱を行う

【事後学修】授業での学びの内容をまとめる

第23回：歌唱指導について(指揮法)

【事前学修】「お正月」「ひな祭り」の歌唱を行う

【事後学修】指揮を行いながら歌唱の練習を行う

第24回：打楽器の特徴、奏法について

実技試験曲の選定

【事前学修】打楽器の種類について調べ学習を行う

【事後学修】取り扱った楽器についてまとめる

第25回：打楽器の特徴、奏法について「カスタネット、鈴、タンブリン、トライアングル」

【事前学修】上記4つの打楽器について調べ学習を行う

【事後学修】実技試験に向けて練習を行う

第26回：打楽器の特徴、奏法について「大太鼓、小太鼓」

【事前学修】上記2つの打楽器について調べ学習を行う

【事後学修】実技試験に向けて練習を行う

第27回：打楽器を使った合奏と指導法

【事前学修】打楽器奏法の確認を行う

【事後学修】実技試験に向けて練習を行う

第28回：打楽器を使った活動発表

【事前学修】打楽器奏法の確認を行う

【事後学修】実技試験に向けて練習を行う

第29回：実技試験曲のまとめ

【事前学修】実技試験に向けて練習を行う

【事後学修】ピアノ指導を振り返り、練習を行う

第30回：目標のまとめと確認を行う（実技試験リハーサル）

【事前学修】実技試験曲の練習を行う

【事後学修】リハーサルでの演奏の振り返りと改善点についての練習を行う

※一斉授業（歌唱指導、合奏指導）と「季節の歌・生活の歌」弾き歌いの習得(個人指導)を行う。

定期試験 正式伴奏による童謡弾き歌い等の実技試験を行う

○ テキスト

「幼児のための音楽教育」神原雅之 鈴木恵津子編著 教育芸術社

「うたってつくってあそぼう」幼児表現研究委員会編著 音楽之友社

「うたとあそび」鹿児島市立幼稚園協会編集

○ 参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省.フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）文部科学省.フレーベル館 「幼保連携認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省
○ 学生に対する評価 全授業を通じた学びの過程（グループ活動、個人発表、歌唱実技）（50%） 実技試験（25%）課題曲合格状況（25%）
【教員の実務経験と授業の関連】 中学校での実務経験（音楽）を通して得られた歌唱や器楽の効果的指導の方法を幼児教育科学生に教授する。

授業科目名	開講年次 開講学期	講義 種類	単位数	担当教員名
教育実習事前・事後指導	2 年前期・2 年後 期	演習	1	西元 道子
○授業の到達目標及びテーマ (1) 教育実習生として遵守すべき義務と義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。 (2) 教育実習を通して得られた知識と経験をふりかえり、教育免許取得までさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。				
○授業の概要 事前指導では、幼稚園教育実習の意義と目的、その内容と方法について理解を深め、教育実習生として保育実践現場での教育活動に参画する意識を高める。事後指導では、教育実習を経て得られた成果と課題等を省察するとともに、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について具体的に理解する。				
○授業計画 第1回：教育実習の意義と目的の理解 教育職員免許法に基づく教育実習の位置づけと今後の授業計画について理解する 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。 第2回：実習の心得 実習生としてふさわしい身だしなみや言葉遣いなどについて確認するとともに、守秘義務の遵守、子どもの人権の尊重など基本的な実習心得を習得する。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認するとともに「実習に臨んで」を作成する。 第3回：実習園の理解（オリエンテーションの指導） 実習園を事前に訪問して、幼稚園の実態、教育方針、幼児の実態、一日の流れなど実習園についての具体的な情報を得た上で実習準備に活用する方法を学ぶ。 【事前学修】自己の実習園について、調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。 第4回：実習課題の明確化 1 年次の保育実習体験を振り返り、教育実習における課題を明確にし、課題を解決していく具体的方法を考える。 【事前学修】保育実習Ⅰの実習記録に目を通して、自己の実習の振り返りを行う。 【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。 第5回：指導計画の立案について① 指導計画の意義を確認し、教育実習における部分実習の計画案を立案する。 【事前学修】調べ学習を通して、指導案の概略をまとめておく。 【事後学修】指導計画が適切であるか授業の内容をもとに振り返り、学びを深めるとともに実践に向けた改善を行う。				

第6回：実習記録の意義と方法の理解①

教育実習記録の意義と目的を理解し、その記入方法について具体例を基に理解する。

【事前学修】教育実習記録に目を通して、内容を確認する。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第7回：実習記録の意義と方法の理解②・実習前の事前確認

教育実習記録の意義と目的を理解し、その記入方法について具体例を基に理解するとともに、実習前に整えておくべき事柄について理解する。

【事前学修】教育実習記録に目を通して、内容を確認する。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第8回：教育実習Ⅰを終えて

実習を終えて、自己の実習目標を振り返るとともに、学んだ保育実践について共有する。

【事前学修】実習で習得した手遊び等について、あらかじめノート等にまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第9回：実習報告会に参加する

実習の具体的内容、課題の達成状況を報告することにより、自己の実習の問題点に気づき、改善に向けての具体的な方法を検討する。

【事前学修】自己の実習の状況についてまとめておく。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第10回：教育実習Ⅱに向けて

積み上げの実習となる教育実習Ⅱに向けて、実習の段階や内容について理解を深める。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第11回：指導計画の立案について②

指導計画の意義を確認し、教育実習における指導実習の計画案を立案する。

【事前学修】調べ学習を通して、指導実習の内容に基づいた計画の立案を行う。

【事後学修】指導計画が適切であるか授業の内容をもとに振り返り、学びを深めるとともに実践に向けた改善を行う。

第12回：指導計画の立案について③

指導計画の意義を確認し、教育実習における指導実習の計画案を立案する。

【事前学修】調べ学習を通して、指導実習の内容に基づいた計画の修正等を行う。

【事後学修】指導計画が適切であるか授業の内容をもとに振り返り、学びを深めるとともに実践に向けた改善を行う。

第13回：模擬保育の実践①

立案した計画に沿って、実際に模擬保育を行い、指導計画が適切なものであるかどうか考察する。

【事前学修】内容のシミュレーションを含め、教材準備を行う。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第14回：模擬保育の実践②

立案した計画に沿って、実際に模擬保育を行い、指導計画が適切なものであるかどうか考察する。

【事前学修】内容のシミュレーションを含め、教材準備を行う。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第15回：模擬保育の実践③

立案した計画に沿って、実際に模擬保育を行い、指導計画が適切なものであるかどうか考察する。

【事前学修】内容のシミュレーションを含め、教材準備を行う。

【事後学修】発表内容について、評価と改善をノート等にまとめる。

第16回：模擬保育を振り返る

前回の模擬保育について反省・考察し、より良い計画と実践について考える。

【事前学修】自己の実践についてまとめた評価と改善について、目を通しておく。

【事後学修】他の学生と意見交換した内容をノート等にまとめる。

第17回：健康管理と感染症

健康管理の重要性と感染症とその対策について理解する。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。

【事後学修】授業の内容をもとに振り返り、学びを深めるとともに実践に向けた改善を行う。

第18回：実習前の事前確認

最後の本実習となる教育実習Ⅱにむけて、最終的な確認を行う。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第19回：教育実習Ⅱを終えて

実習を終えて、自己の実習目標を振り返るとともに、実践した指導実習について意見交換を行う。

【事前学修】実習での経験をノート等にまとめておく。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第20回：実習報告会に参加する

実習の具体的内容、課題の達成状況を報告することにより、自己の実習の問題点に気づき、改善に向けての具体的な方法を検討する。

【事前学修】実習で感じた疑問等について、あらかじめノート等にまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った配布資料をもとに、内容を再確認する。

第21回：守秘義務の重要性を理解する

実習生として遵守しなければならない個人情報保護の内容について理解する。

【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第22回：実習の成果と課題

自己の実習の問題点と実習園からの評価を比較検討し、客観的に自己の実習について省察する。

【事前学修】実習経験をまとめたノート等に目を通しておく。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。

第23回：実習の総括と自己評価

実習体験を整理し、教育実習に関しての自己評価を行う。

【事前学修】教育実習Ⅱの実習記録に目を通して、自己の実習を振り返る。

【事後学修】実習の自己評価をもとに、改善点についてノート等にまとめる。

第24回：幼稚園教育の基本を理解する

実習での体験を通して、幼稚園教育の基本について考える。

【事前学修】幼稚園教育要領解説に目を通して本時の調べ学習を行う。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第25回：幼稚園教育において育みたい資質・能力について理解する 実習での体験を通して、幼児の豊かな生活経験を保障する幼稚園教育のあり方について理解する。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第26回：教師の役割について理解する 実習での体験を通して、教師の役割と求められる資質について理解する。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第27回：子ども主体の保育とは 実習での体験を通して、子どもを主体とした保育実践について理解する。 【事前学修】幼稚園教育要領解説に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第28回：幼小接続について学ぶ 実習での体験を通して、幼稚園と小学校の連携のあり方について理解する。 【事前学修】幼稚園教育要領解説に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第29回：家庭や地域との連携について学ぶ 実習での体験を通して、家庭や地域との連携や取り組みの内容について理解する。 【事前学修】幼稚園教育要領解説に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。 第30回：今後の課題の明確化 今後の学習課題を確認し、課題を実現させていく具体的方法を考える。 【事前学修】教科書に目を通して本時の調べ学習を行う。 【事後学修】授業で取り扱った内容を見直しノート等にまとめる。
○テキスト 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド（小櫃智子・守巧・佐藤恵・小山朝子、わかば社） 遊びが広がる保育内容のアイディア（西海 聡子編著、萌文書林）
○参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省・フレーベル館 「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省・フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省・フレーベル館
○学生に対する評価 受講態度、授業への参加態度 30%、模擬保育 30%、提出物の状況 20%、実習報告書 20%
【教員の実務経験と授業の関連】 附属幼稚園において園長代理としての業務に就き、実習生の受け入れや指導を行っており、そこで得た知識、技能、実務経験を教員として幼児教育科学生に教授する。